

2009 年秋季年会

年会プログラム

於 山口大学

2009 年 9 月 14 日 (月) ~ 9 月 16 日 (水)

日本天文学会

日本天文学会 2009 年秋季年会プログラム

期 日 2009年9月14日(月)～9月16日(水)

場 所 山口大学(山口県山口市)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2009年9月12日(土)～9月16日(水)>

日 程

月日	会場	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
9月12日(土)							公開講演会					
9月13日(日)							記者会見					
9月14日(月)	A	受付		S. 銀河核	昼 休 み (理事会)	ポスター		S. 銀河核	天文教育 フォーラム (G会場)			
	B			R. 銀河				R. 銀河				
	C			L. 太陽系				L. 太陽系/M. 太陽				
	D			Y. 教育・他				Q. 星間				
	E			P. 星・惑星				P. 星・惑星				
	F			J. 高密度星				J. 高密度星				
	G			K. 超新星爆発				K. 超新星爆発				
	H			T. 銀河団				T. 銀河団/V. 地上観				
	I			U. 宇宙論				W. 飛翔観				
9月15日(火)	A	受付		S. 銀河核/X. 銀河形成	昼 休 み (評議員会)	ポスター		X. 銀河形成	総会 出席者確認	総会 (大会会館)	懇親会	
	B			N. 恒星				N. 恒星				
	C			M. 太陽				M. 太陽				
	D			Q. 星間				Q. 星間				
	E			P. 星・惑星				P. 星・惑星				
	F			J. 高密度星				J. 高密度星				
	G			A. 広視野探査				A. 広視野探査				
	H			V. 地上観				V. 地上観				
	I			W. 飛翔観				W. 飛翔観				
9月16日(水)	A	受付		X. 銀河形成	昼 休 み	ポスター						
	B			N. 恒星								
	C			M. 太陽				M. 太陽				
	D			Q. 星間				Q. 星間				
	E			P. 星・惑星				P. 星・惑星				
	F			J. 高密度星				J. 高密度星				
	G			A. 広視野探査								
	H			V. 地上観				V. 地上観				
	I			W. 飛翔観				W. 飛翔観				

- A会場 : 共通教育棟 2F (22 番教室)
- B会場 : 共通教育棟 2F (23 番教室)
- C会場 : 共通教育棟 2F (24 番教室)
- D会場 : 共通教育棟 2F (25 番教室)
- E会場 : 共通教育棟 2F (26 番教室)
- F会場 : 共通教育棟 2F (27 番教室)
- G会場 : 共通教育棟 2F (28 番教室)
- H会場 : 共通教育棟 1F (14 番教室)
- I会場 : 共通教育棟 1F (15 番教室)

- 受 付 : 共通教育棟 2F
- 会議室 : 共通教育棟 1F
- ポスター会場 : 第1体育館
- 展示コーナー : 第1体育館
- インターネット : 共通教育棟 1F
- 懇親会会場 : 第2食堂きらら

◎講演数

講演数：合計 647

(口頭講演 (a)：405、ポスター講演 (b)：192、ポスター講演 (c)：50)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をして下さい。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (共通教育棟 2F)

○参加登録受付時間：9月14日 10:00～16:00
9月15日 09:30～16:00
9月16日 09:30～15:00

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、所属機関で必要となる場合もありますので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

※懇親会に参加される方は、参加費・講演登録費の支払いに続いて、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は9会場で並行して行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、9月14日の10:00から9月16日の14:00までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180cm×横90cmです。

3. 講演には液晶プロジェクタをご使用下さい。液晶プロジェクタは、セッション開始前にPCの接続を確認して下さい。OHP使用の申込があった講演については、書画カメラを準備しております。書画カメラ使用の場合は、A4の紙で発表をご用意ください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいて下さい。

◎会期中の行事

1. 公開講演会 : 12日(土) 13:30～16:00 山口大学・大学会館ホール
2. 記者会見 : 13日(日) 14:00～15:00 山口大学・大学会館会議室
年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
3. 理事会 : 14日(月) 13:00～14:00 会議室
4. 天文教育フォーラム : 14日(月) 17:00～18:30 G会場
5. 評議員会 : 15日(火) 12:00～13:00 会議室
6. 総会 : 15日(火) 16:00～17:30 山口大学・大学会館ホール
(16:00～16:30 総会出席者確認、16:30 総会開始)
 - 2010年度事業計画書
 - 2010年度収支予算書
 - 会費に関する細則の改定
 - 第18期評議員の承認
7. 懇親会 : 15日(火) 18:00～ 第2食堂きらら

◎天文教育フォーラム

テ ー マ : 「学会によるアウトリーチ支援のあり方」

日 時 : 2009年9月14日(月) 17:00～18:30

場 所 : G会場

主 旨 : パブリックアウトリーチは、もともと、大学などの研究機関がその成果を直接社会に還元する活動を指しますが、数年を経て今や日本での科学教育の面で一定の重みをもつようになってきました。当初は試行錯誤の状況でしたが、その中からいくつかの雛形ができ、近頃では、それを踏まえて実施される活動が増えてきたようです。しかしながら、特に、理科離れ対策として、政府などが重点的に推進した結果、数は急増したものの、どのような意図で何を目的としてアウトリーチ活動を行うものなのか関係者の間ですら食い違っている例が見られるようです。そこで、今回のフォーラムは、アウトリーチ活動の現状を広く見直し、問題点を洗い出す場として企画しました。

アウトリーチ活動を取り巻く立場はさまざまです。しかし、同じ立場でも異なった目標・意図を持つ人がいます。異なっていることを認識していなければ、無用な軋轢が起こるかも知れません。逆に、2つ以上の目的を同時に実現する手段もあるかも知れません。それらを明らかにするためにも、本音をぶつけあい、アウトリーチ活動をできるだけ多くの人々にとって価値あるものにしていく必要があるかと思えます。

日本天文学会は科学研究者が中心の組織ですが、天文学の普及もその目標に掲げています。ですから、天文学のアウトリーチ活動に近い組織ということもできます。今回の議論を通じて、明らかとなるであろう潜在的な問題点を解決するために学会ができること、学会がなすべきことを考えるきっかけにしたいと思えます。

話題提供者 (1) 自然科学研究者の立場から 戎崎俊一(理化学研究所)
(2) 社会教育施設の立場から 黒田武彦(兵庫県立西はりま天文台公園)
(3) 学校教員の立場から 千頭一郎(鹿児島県立鹿屋高校)
(4) 他学会の状況～日本地球惑星科学連合の場合～
原 辰彦(同広報普及活動委員会副委員長・建築研究所)

司 会 進 行 : 半田利弘(日本天文学会理事・東京大学)

実 行 委 員 : 半田利弘(東京大学)、中道晶香(群馬県生涯学習センター)、仲野誠(大分大学)、松尾厚(山口県立博物館)

◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ : 「宇宙の観測—歴史の中と最先端と—」

日 時 : 2009年9月12日(土) 13:30～16:00 (開場 12:30)

場 所 : 山口大学・大学会館ホール

対 象 : 中学生以上・一般向け

趣 旨 : 今年はガリレオ・ガリレイが望遠鏡で宇宙を観測してから400年という記念すべき年、世界天文年です。人類による宇宙の観測という営みを、2つの講演によって紹介したいと思います。

1番目の講演は、理化学研究所の戎崎さんです。普段、私たちは全く気が付きませんが、今この瞬間も私たちの体を宇宙線という不思議な粒子が通過しています。その発見は約100年前にさかのぼりますが、いまだにそれがどこでどのように作り出されているのかよくわかっていません。この100年間に行われた数々の研究と、ようやく最近わかりかけてきた事実、そして戎崎さんが中心となって進めるEUSO計画など、宇宙線を見る現代最先端の観測について紹介します。

2番目の講演は、山口県立山口博物館学芸員の松尾さんです。日本の天文史跡について、その代表的なものを(特に山口県・中国地方を中心に)取り上げ、史跡めぐりの楽しさやエピソードを紹介し、その史跡の背景にある天文学や天文学史について解説します。また、一般の方々も取りかかれる天文史料や古記録調査について、その面白さもお話しする予定です。

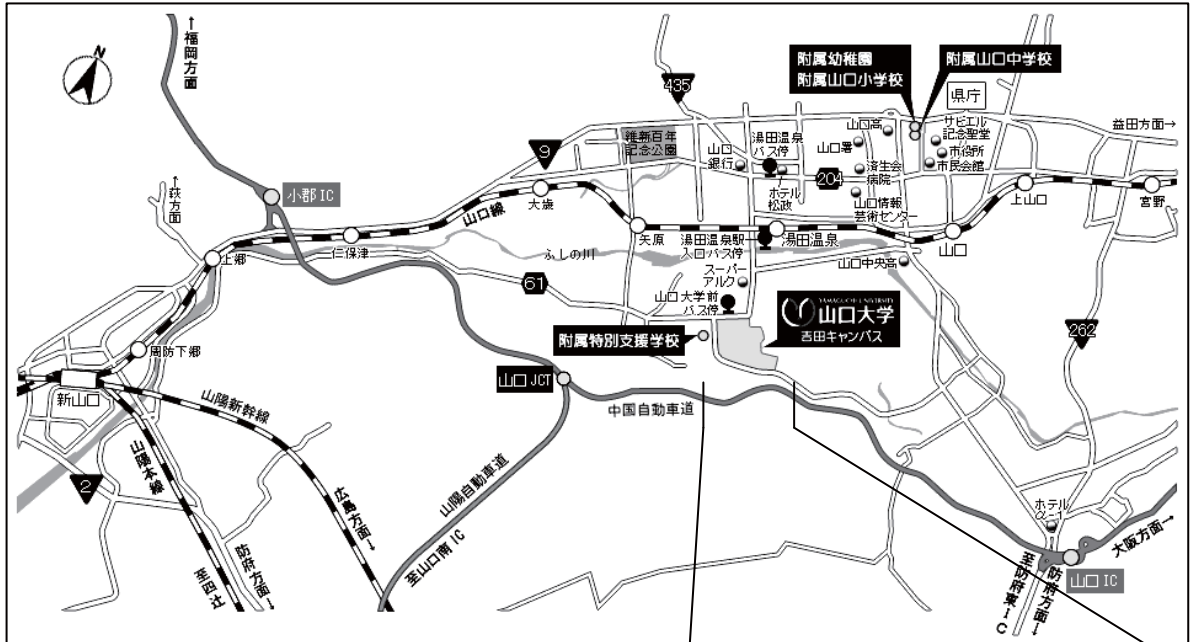
講演1: 「宇宙から来る不思議な粒子—宇宙線の研究最前線—」戎崎俊一(理化学研究所)

講演2: 「日本の天文史跡めぐり—星空のもう一つの楽しみ—」松尾厚(山口県立博物館)

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由におこしください。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございます。収容定員200名。

■ 秋季年会会場(山口大学・吉田キャンパス)のご案内



交通案内

●山口宇部空港からバス(約70分)

(乗り換え要す)

山口宇部空港発新山口駅行きバス乗り場
 宇部市営バス(特急)に乗って37分、
 JR新山口駅バス停に着(終点)
 新山口駅を横切って在来線側へ行く
 防長バス「山口大学方面」(8番のりば)
 平川経由30分
 山口大学前バス停で下車
 徒歩3分で吉田キャンパス到着

●JR新山口駅からバス(約30分)

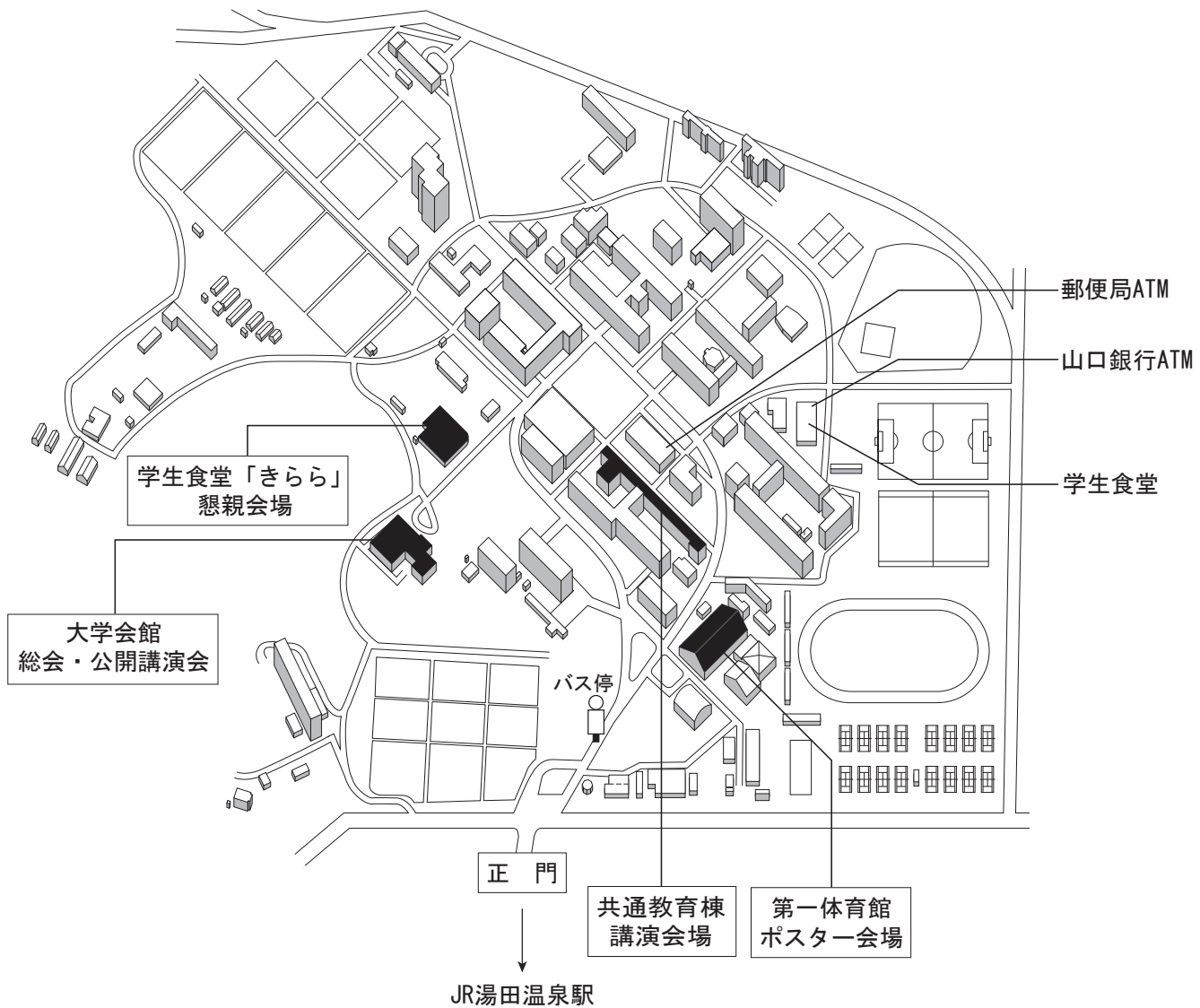
防長バス「山口大学方面」(8番のりば)
 平川経由30分
 山口大学前バス停で下車
 徒歩3分で吉田キャンパス到着

●JR新山口駅から在来線+徒歩(約45分)

JR新山口駅(始点)からJR山口線・各駅停車19分
 JR湯田温泉駅着
 徒歩25分で吉田キャンパス到着(右図)



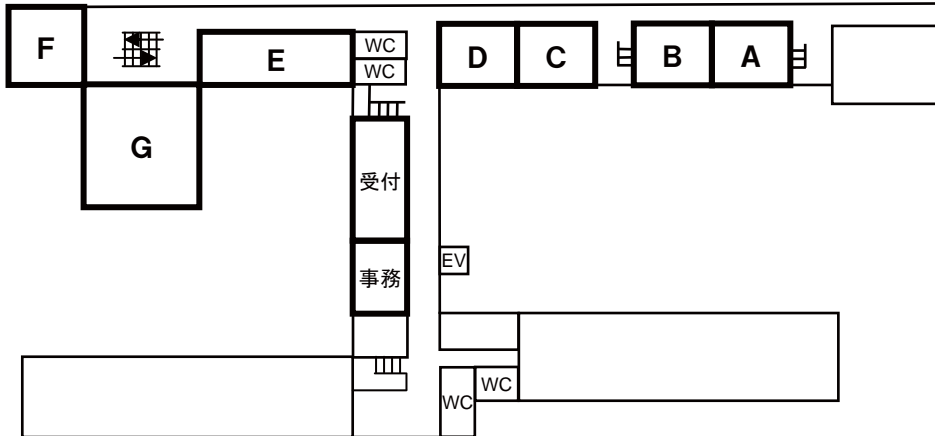
■ キャンパスマップ



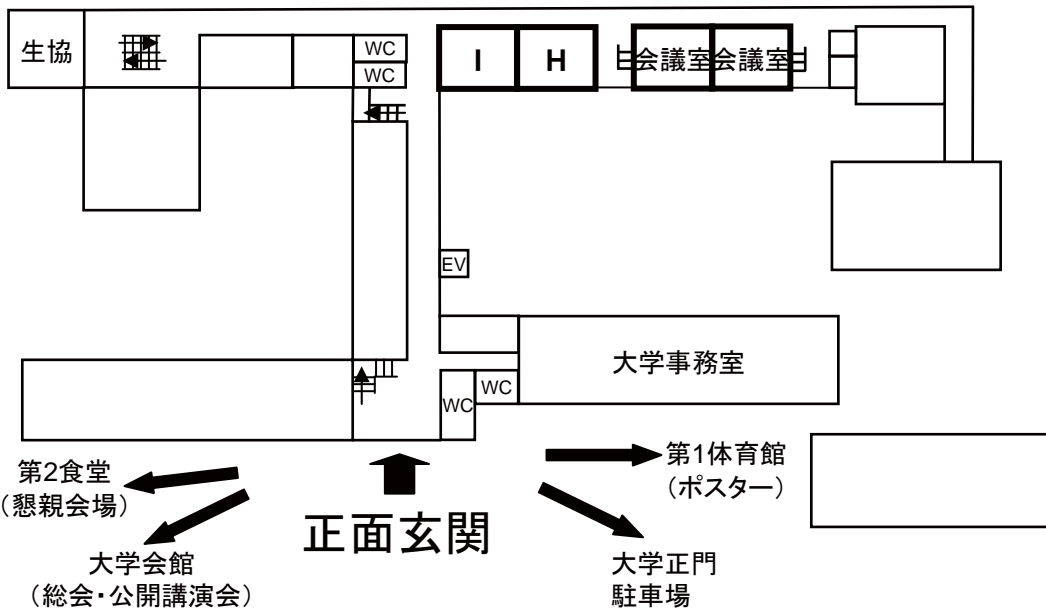
- ・ 正門付近が改装中で、道路などが上の図から多少変わっています。
- ・ 車で入構できます。駐車場は正門入ってすぐの所にあります。
- ・ キャンパス内は所定の場所を除いて禁煙です。

■ 講演会場の案内

山口大学共通教育棟 2F



山口大学共通教育棟 1F



口頭セッション 9月14日(月)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【銀河核】	【銀河】	【太陽系】	【教育・他】	【星・惑星】	【高密度星】	【超新星爆発】	【銀河団】	【宇宙論】
11:00	S01a	R01a	L01b,L02b, L03b	Y01a	P01a	J01a	K01a	T01a	U01a
11:12	S02a	R02a	L04a	Y02a	P02a	J02a	K02a	T02a	U02a
11:24	S03a	R03a	L05a	Y03a	P03a	J03a	K03a	T03a	U03a
11:36	S04a	R04a	L07a	Y04a	P04a	J04a	K05a	T04a	U04a
11:48	S05a	R05a	L08a	Y05a	P05b,P06b, P07b	J05a	K06a	T05a	U05a
12:00	S06a	R06b,R07b, R08b	L09a	Y07a	P08a	J06a	K07b,K08b, K09b	T06a	U06a
12:12	S07a	R09a	L11b,L12b, L13b	Y08a	P09a	J07a	K10a	T07a	U07a
12:24	S08a	R10a	L14a	Y09b,Y10b, Y11b	P10a	J08a	K11a	T08a	U08a
12:36	S09b,S10b, S11b	R11a	L15a	Y12b,Y13b, Y14b	P11a	J09a	K12a	T09a	U09a
12:48	S12b,S13b, S14b	R12b,R13b, R14b	L16b,L17b, L18b	Y15a	P12b,P13b, P14b	J10a	-	T10a	U10a
13:00	-	R15b,R16b	-	-	-	J11b,J12b, J13b	-	-	U11b,U12b, U13b
13:12	-	-	-	-	-	J14b	-	-	U14b
13:00	昼休み								
14:00	ポスター								
開始時刻	【銀河核】	【銀河】	【太陽系/ 太陽】	【星間】	【星・惑星】	【高密度星】	【超新星爆発】	【銀河団/ 地上観】	【飛翔観】
15:00	S15a	R20a	L19a	Q01a	P15a	J15a	K13a	T11a	W01a
15:12	S16a	R21a	L20a	Q02a	P16a	J16a	K14a	T12a	W04a
15:24	S17a	R22a	L21a	Q03a	P17a	J17a	K15a	T13a	W05b,W06b, W08b
15:36	S18a	R23a	L22a	Q04a	P18a	J18a	K16a	T14b	W09b,W10b, W11b
15:48	S19a	R24a	M01a	Q05a	P19b,P20b, P21b	J19a	K17b,K18b, K20b	V01b,V02b, V04b	W12a
16:00	S20a	R25b,R26b, R27b	M02a	Q06a	P23a	J20a	K21a	V05b,V07b, V08b	W13a
16:12	S21a	R28a	M03a	Q07a	P24a	J21a	K22a	V09b,V11b, V12b	W14a
16:24	S22a	R29a	M04a	Q08a	P25a	J22b,J23b, J24b	K23a	V14a	W15b,W16b, W17b
16:36	S23a	R30a	M05a	Q09a	P26a	J25a	K24a	V16a	W18a
16:48	S24b,S25b, S26b	R31a	M06a	Q10a	P27b,P28b, P29b	J26a	K25b,K26b	V17b,V18b	W19b
17:00	天文教育フォーラム (G会場)								

口頭セッション 9月15日(火)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【銀河核/ 銀河形成】	【恒星】	【太陽】	【星間】	【星・惑星】	【高密度星】	【広視野探査】	【地上観】	【飛翔観】
10:00	S29a	N01a	M07a	Q11a	P30a	J27a	A01a) A10a	V19a	W20a
10:12	S30a	N02a	M08a	Q12a	P31a	J28a		V20a	W21a
10:24	S31a	N03a	M09a	Q13a	P32a	J30a		V21a	W22a
10:36	X01b,X02b, X03b	N04a	M10a	Q14a	P33a	J31a		V22a	W23a
10:48	X04b,X05b, X06b	N05a	M11a	Q15a	P34b,P35b, P36b	J32a		V24a	W24a
11:00	X07a	N06a	M12a	Q16a	P37a	J33a		V25a	W25a
11:12	X08a	N07a	M13b,M15b, M16b	Q17a	P38a	J34a		V26a	W26b,W27b, W28b
11:24	X09a	N08a	M17b,M18b, M19b	Q18b,Q19b, Q20b	P39a	J35a		V27a	W29b,W30b, W31b
11:36	X10a	N09a	M20b,M21b, M22b	Q21b,Q22b, Q23b	P40b,P41b, P42b	J36a		V28a	W32b,W33b, W34b
11:48	X11a	N10a	M23b,M24b	Q24b,Q25b	P43b,P44b	J37b,J38b, J39b		V29b,V30b	W35b,W36b, W37b
12:00	-	N11b,N12b	-	-	-	J40b,J41b, J42b	-	-	
12:00	昼休み								
13:00	ポスター								
開始時刻	【銀河形成】	【恒星】	【太陽】	【星間】	【星・惑星】	【高密度星】	【広視野探査】	【地上観】	【飛翔観】
14:00	X12a	N13a	M25a	Q28a	P45a	J45a	A11a) A19a	V33a	W38a
14:12	X13a	N14b,N15b, N16b	M26a	Q29a	P46a	J46a		V34b,V35b, V36b	W39a
14:24	X14a	N17a	M27a	Q30a	P47a	J47a		V38a	W40a
14:36	X15a	N18a	M28a	Q31a	P48b,P49b, P50b	J48a		V39a	W41a
14:48	X16a	N19a	M29a	Q32a	P51b,P52b, P53b	J49a		V40a	W42a
15:00	X17a	N20a	M30a	Q33a	P54a	J50a		V41a	W43a
15:12	X18a	N21a	M31a	Q34a	P55a	J51a		V42b,V43b, V45b	W44a
15:24	X19a	N22a	M32a	Q35a	P56a	J52a		V52b,V53b, V54b	W45a
15:36	X20a	N23a	M33a	Q36a	P57b,P58b, P59b	J53a		V55b,V56b, V57b	W46b,W47b, W48b
15:48	X21a	N25a	M34a	Q37a	P60b,P61b	J54a		V58b,V59b	W49b
16:00	-	N26b	-	-	-	-	-	-	
16:00	総会(大学会館ホール)								
18:00	懇親会								

口頭セッション 9月16日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【銀河形成】	【恒星】	【太陽】	【星間】	【星・惑星】	【高密度星】	【広視野探査】	【地上観】	【飛翔観】
10:00	X22a	N28a	M35a	Q40a	P62a	J55a	A20b) A31a	V62a	W50a
10:12	X23a	N29a	M36a	Q41a	P63a	J56a		V63a	W51a
10:24	X24a	N30a	M37a	Q42a	P64a	J57a		V64a	W52a
10:36	X25a	N31a	M38a	Q43a	P65a	J58a		V65a	W53a
10:48	X26a	-	M39a	Q44a	P66a	J59a		V66a	W54a
11:00	-	-	M40a	Q45a	P67a	J60a		V67a	W55a
11:12	-	-	M41a	Q46a	P68a	J61a		V68b,V69b, V70b	W56a
11:24	-	-	M42a	Q47a	P69a	J62a		V71b,V72b, V73b	W57a
11:36	-	-	M43a	Q48a	P70a	J63a		V74b,V75b, V76b	W58a
11:48	-	-	M44a	Q49a	P71a	J64a		V77b,V78b, V79b	W59a
12:00	昼休み								
13:00	ポスター								
開始時刻			【太陽】	【星間】	【星・惑星】	【高密度星】		【地上観】	【飛翔観】
14:00			M45a	Q50a	P72a	J65a		V81a	W60a
14:12			M46a	Q51a	P73a	J66a		V82a	W61a
14:24			M47a	Q52a	P74a	J67a		V83a	W62a
14:36			M48a	Q53a	P75a	-		V84a	W63a
14:48			M49a	-	P76a	-		V85a	W64a
15:00			M50a	-	-	-		V86a	-
15:12			M51a	-	-	-		V87a	-
15:24			-	-	-	-		V88a	-

ポスターセッション 9月14日(月) ~ 9月16日(水)

【広視野探査】(5)	A20b	A21b	A24b	A25b	A32c	【活動銀河核】(11)	S09b	S10b	S11b	S12b	S13b
【高密度星】(16)	J11b	J12b	J13b	J14b	J22b	S14b	S24b	S25b	S26b	S27c	S28c
	J23b	J24b	J29c	J37b	J38b	【銀河団】(2)	T14b	T15c			
	J39b	J40b	J41b	J42b	J43c	【宇宙論】(7)	U11b	U12b	U13b	U14b	U15c
	J44c					U16c	U17c				
【超新星爆発】(10)	K04c	K07b	K08b	K09b	K17b	【地上観測機器】(58)	V01b	V02b	V03c	V04b	V05b
	K18b	K19c	K20b	K25b	K26b	V06c	V07b	V08b	V09b	V10c	
【太陽系】(11)	L01b	L02b	L03b	L06c	L10c	V11b	V12b	V13c	V15c	V17b	
	L11b	L12b	L13b	L16b	L17b	V18b	V23c	V29b	V30b	V31c	
	L18b					V32c	V34b	V35b	V36b	V37c	
【太陽】(12)	M13b	M14c	M15b	M16b	M17b	V42b	V43b	V44c	V45b	V46c	
	M18b	M19b	M20b	M21b	M22b	V47c	V48c	V49c	V50c	V51c	
	M23b	M24b				V52b	V53b	V54b	V55b	V56b	
【恒星】(10)	N11b	N12b	N14b	N15b	N16b	V57b	V58b	V59b	V60c	V61c	
	N24c	N26b	N27c	N32c	N33c	V68b	V69b	V70b	V71b	V72b	
【星・惑星形成】(32)	P05b	P06b	P07b	P12b	P13b	V73b	V74b	V75b	V76b	V77b	
	P14b	P19b	P20b	P21b	P22c	V78b	V79b	V80c			
	P27b	P28b	P29b	P34b	P35b	【飛翔体観測機器】(29)	W02c	W03c	W05b	W06b	W07c
	P36b	P40b	P41b	P42b	P43b	W08b	W09b	W10b	W11b	W15b	
	P44b	P48b	P49b	P50b	P51b	W16b	W17b	W19b	W26b	W27b	
	P52b	P53b	P57b	P58b	P59b	W28b	W29b	W30b	W31b	W32b	
	P60b	P61b				W33b	W34b	W35b	W36b	W37b	
【星間現象】(12)	Q18b	Q19b	Q20b	Q21b	Q22b	W46b	W47b	W48b	W49b		
	Q23b	Q24b	Q25b	Q26c	Q27c	【銀河形成】(6)	X01b	X02b	X03b	X04b	X05b
	Q38c	Q39c				X06b					
【銀河】(14)	R06b	R07b	R08b	R12b	R13b	【天文教育・他】(7)	Y06c	Y09b	Y10b	Y11b	Y12b
	R14b	R15b	R16b	R17c	R18c	Y13b	Y14b				
	R19c	R25b	R26b	R27b		【PDL】					
						【最新情報コーナー】					
						【展示コーナー】					

A. 広視野探査

9月15日(火) 午前・G会場		9月15日(火) 午後・G会場	
10:00	A01a WFMOS プロジェクトの将来 須藤 靖 (東京大学)	14:00	A11a 赤方偏移歪みとバリオン音響振動 樽家篤史 (東京大学)
10:15	A02a Hyper Suprime-Cam の開発状況 宮崎 聡 (国立天文台)	14:12	A12a バリオン音響振動を用いて宇宙パラメータを推定する際の非ガウス誤差の影響 高橋龍一 (名古屋大学)
10:27	A03a HSCによる広視野撮像サーベイデータの解析処理システムとサイエンスデータベースの開発 古澤久徳 (国立天文台)	14:24	A13a FMOS を用いたサイエンス 太田耕司 (京都大学)
10:39	A04a HSC 用超大型狭帯域フィルターの開発 林野友紀 (東北大学)	14:39	A14a すばる FMOS バリオン振動探査 (FastSound) 計画の現状 住吉昌直 (京都大学)
10:51	A05a 宇宙論研究におけるすばる広視野サーベイの役割と戦略 浜名 崇 (国立天文台)	14:51	A15a すばる広視野サーベイと TMT 家 正則 (国立天文台)
11:06	A06a すばる HSC サーベイに向けた大規模重力レンズシミュレーション 佐藤正典 (名古屋大学)	15:06	A16a 戦略的な遠方銀河研究へ向けて 大型地上 / 宇宙望遠鏡プロジェクトに繋がるすばる広視野サーベイとは? 大内正己 (カーネギー天文台)
11:18	A07a 可視銀河団サーベイによる宇宙論: 原始非ガウス性と暗黒エネルギー 大栗真宗 (スタンフォード大学)	15:21	A17a Ly α blobs の広域・無バイアス探査による、銀河形成・進化の観測的解明 斎藤智樹 (愛媛大学)
11:30	A08a 広視野撮像・分光サーベイデータを用いた重力レンズ探索 稲田直久 (理化学研究所)	15:33	A18a NIR spectroscopy of passively evolving galaxies at $z > 1.4$ in COSMOS field with MOIRCS 小野寺仁人 (Service d'Astrophysique, CEA/Saclay)
11:42	A09a 銀河分布のバイスペクトルを用いた原始揺らぎの非ガウス性の研究 西道啓博 (東京大学)	15:45	A19a LoCuSS : Subaru Weak Lensing Study of Galaxy Clusters 岡部信広 (ASIAA (Taiwan))
11:54	A10a 宇宙大規模構造の観測によるニュートリノ質量の決定 斎藤 俊 (東京大学)		

J. 高密度星

9月16日(水) 午前・G会場	9月14日(月) 午前・F会場
10:00 A20b すばる HSC で探る銀河からの電離光子放射の進化 岩田 生 (国立天文台)	11:00 J01a 新たに発見された食のあるポーラー CSS081231:071126+440405 の可視光測光・分光観測 前原裕之 (京都大学)
10:03 A21b HSC / Deep サーベイ で探る $z \sim 1$ の銀河の星形成活動の環境依存性 井手上祐子 (愛媛大学)	11:12 J02a 最短軌道周期の SU UMa 型矮新星 OT J102842.9-081927 の発見 大島誠人 (京都大学)
10:06 A22a SWANS Subaru Wide-Field AGN Survey with HSC 長尾 透 (愛媛大学)	11:24 J03a SU UMa 型矮新星 IY UMa の 2009 年 outburst 期における測光観測 國富菜々絵 (岡山理科大学)
10:21 A23a 超巨大ブラックホール進化の多階層理論モデルの構築に向けて 川勝 望 (国立天文台)	11:36 J04a SU UMa 型矮新星 AY Lyr の 2008/2009 superoutburst 期における測光観測 今村和義 (岡山理科大学)
10:33 A24b HSC を用いた可視変光による活動銀河核探査 諸隈智貴 (国立天文台)	11:48 J05a 古典新星 V2491 Cyg の光度曲線解析と2次極大のメカニズム 蜂巢 泉 (東京大学)
10:36 A25b HSC を用いた high proper motion star 探査 諸隈智貴 (国立天文台)	12:00 J06a 非常に速い古典新星 V838 Her (1991) の光度曲線解析 加藤万里子 (慶應義塾大学)
10:39 A26a Shock Breakout を用いた $z>0.5$ の重力崩壊型超新星の直接観測 冨永 望 (甲南大学)	12:12 J07a 「すざく」、第二の白色矮星パルサー発見か？ 寺田幸功 (埼玉大学)
10:51 A27a 広視野撮像・分光サーベイに基づく銀河考古学の展開 千葉征司 (東北大学)	12:24 J08a 磁場を持つ白色矮星の連星系の質量推定；X線連続スペクトルの解析から 湯浅孝行 (東京大学)
11:06 A28a Tracing Dark Matter Satellites around the Milky Way 岡本桜子 (東京大学)	12:36 J09a すざく衛星による強磁場激変星 V1223 Sagittarii の観測 林多佳由 (宇宙航空研究開発機構)
11:33 A30a 高黄緯領域における太陽系外縁部サーベイ 寺居 剛 (神戸大学)	12:48 J10a INTEGRAL 衛星による強磁場白色矮星からの非熱的放射の探査 原山 淳 (埼玉大学)
11:45 A31a A shape study for icy bodies in the solar system 高橋 茂 (国立天文台)	13:00 J11b 古典新星 V2491 Cygni の詳細 X線分光観測 武井 大 (立教大学)
A32c すばる分光サーベイと TMT による銀河系考古学 青木和光 (国立天文台)	

13:00	J12b	初期に複数のピークを示す古典新星のスペクトルの変化 田中淳平 (京都大学)	16:24	J23b	すざく衛星による γ Cas 型 HD 161103, HD 110432 の観測 塩野目雄 (首都大学東京 / 宇宙航空研究開発機構)
13:00	J13b	GRAPE-DR を用いたパルサー磁気圏の大局的三次元シミュレーション 和田智秀 (CfCA)	16:24	J24b	RXTE 衛星と IRSF 望遠鏡 SIRIUS カメラを用いた特異天体 XSS J12270 4859 の X 線・近赤外線同時観測 齊藤 慧 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)
13:12	J14b	星風降着型大質量 X 線連星中の中性子星の回転進化 鷹野重之 (セランゴール産業大 / 芝浦工大)	16:36	J25a	すざくによる銀河系バルジ方向の未特定 X 天体の観測 森 英之 (名古屋大学)
9月14日(月) 午後・F会場					
15:00	J15a	パルサー磁気圏における Y-point 形成のシミュレーション 2 海崎光宏 (山形大学)	16:48	J26a	X 線パルサーにおけるサイクロトロン線の深さと放射領域 西村 治 (長野高専)
15:12	J16a	パルサー磁気圏における粒子シミュレーション 結城伸哉 (山形大学)	9月15日(火) 午前・F会場		
15:24	J17a	二成分プラズマの相対論的アウトフローを伴う磁気圏モデル 小島康史 (広島大学)	10:00	J27a	銀河中心部より到来する電波パルスに基づく巨大ブラックホール群の解明—東北大学飯館デカメータ波電波観測施設による再検討 大家 寛 (東北大学)
15:36	J18a	Chandra によるパルサー星雲 torus の観測 馬場 彩 (宇宙航空研究開発機構)	10:12	J28a	銀河中心デシメータ波帯電波パルス Gae の周期の広がり Kerr ブラックホールの特性に関連して 西阪飛鳥 (東北大学)
15:48	J19a	フェルミ衛星で発見されたガンマ線パルサーの X 線観測 金井義和 (東京工業大学)		J29c	相対論的流体力学における散逸の実用的解法 高本 亮 (京都大学)
16:00	J20a	Wind accretion in the gamma-ray binary LS 5039 岡崎敦男 (北海学園大学)	10:24	J30a	ブラックホール連星における移流優勢流と円盤コロナからの X 線スペクトルについて 川畑亮二 (京都大学)
16:12	J21a	近傍超高エネルギー宇宙線源からの超高エネルギーガンマ線について 村瀬孔大 (京都大学)	10:36	J31a	アウトフローを伴う超臨界降着流の X 線スペクトル計算 II 質量降着率および視線方向への依存性 川島朋尚 (千葉大学)
16:24	J22b	「すざく」衛星によるガンマ線連星 LS I+61 303 の広帯域 X 線スペクトルおよびライトカーブの時間変動 永江 修 (広島大学)	10:48	J32a	光学的に薄いブラックホール風の観測的特徴 齊藤秀樹 (大阪教育大学)

			9月15日(火) 午後・F会場	
11:00	J33a	ブラックホール光度変動のセルオートマトンモデル: 光度-ゆらぎ関係 眞榮田義臣 (京都大学)	14:00 J45a	「すざく」による超光度 X 線源 NGC 1313 X1, X2 のスペクトル変動の観測 磯部直樹 (京都大学)
11:12	J34a	「すざく」衛星を用いた CygX-1 の広帯域スペクトルの長期詳細観測 鳥井俊輔 (東京大学)	14:12 J46a	超臨界降着円盤から吹くブラックホール風のスペクトル→超光度 X 線源に対して超臨界降着円盤モデルを適用する方法の見直し 福江 純 (大阪教育大学)
11:24	J35a	「すざく」が捉えた Very High 状態: GX 339-4 の広帯域 X 線観測(その2) 山田真也 (東京大学)	14:24 J47a	Peculiar Behavior of GRS 1915+105 on Its Near-Eddington Limit Kiki VIERDAYANTI (Kyoto Univ.)
11:36	J36a	「すざく」を用いた MCG-6-30-15 の硬 X 線放射の新解釈 野田博文 (東京大学)	14:36 J48a	すざく衛星によるブラックホール天体 GRS 1915+105 の広帯域 X 線スペクトル解析 本田光介 (広島大学)
11:48	J37b	Ultraluminous X-ray Sources in the interacting Galaxy System NGC 4490 and NGC 4485 吉田鉄生 (宇宙航空研究開発機構 / 東京理科大学)	14:48 J49a	相対論的に膨張する磁気ループの自己相似解と数値実験 浅野栄治 (京都大学)
11:48	J38b	「すざく」による LMC X-3 の観測とブラックホール降着円盤モデルの検証 久保田あや (芝浦工業大学)	15:00 J50a	中性子星内部のトロイダル磁場に関する数値的研究 木内建太 (早稲田大学)
11:48	J39b	Subaru/IRCS による RRAT J1819-1458 に付随する debris disk の探索 田中康之 (宇宙航空研究開発機構)	15:12 J51a	マグネター天体 1E 1547.0-5408 の「すざく」 ToO 観測 榎戸輝揚 (東京大学)
12:00	J40b	RXTE 衛星によるマグネター 1E2259+586 の長期観測の解析 (II) 長崎健太 (立教大学)	15:24 J52a	「すざく」によるマグネターの観測: 現状と見直し 牧島一夫 (東京大学/ 理化学研究所)
12:00	J41b	RXTE 衛星によって観測された SGR のバーストカタログの構築 児島 亨 (青山学院大学)	15:36 J53a	ガンマ線バーストによる銀河間空間の磁場探索 高橋慶太郎 (名古屋大学)
12:00	J42b	磁気圧によって駆動された相対論的速度を持つ磁気ループの自己相似的成長 高橋博之 (国立天文台)	15:48 J54a	Fermi 衛星によるガンマ線バーストの観測 大野雅功 (宇宙航空研究開発機構)
	J43c	磁気回転星の平衡形状と動的不安定性 猿渡元彬 (九州大学)		
	J44c	「すざく」衛星搭載の広帯域全天モニタ WAM による GRB090530B の観測 林 秀憲 (宮崎大学)		

9月16日(水) 午前・F会場		9月16日(水) 午後・F会場	
10:00	J55a 全天 X 線監視装置 MAXI の突発天体発見及び速報システムの動作状況 三好 翔 (日本大学)	14:00	J65a General Relativistic Dissipative Hydrodynamics and Accretion Flow 齊田浩見 (大同大学)
10:12	J56a ブラックホール形成時のハイペロン生成とニュートリノシグナルへの影響 中里健一郎 (京都大学)	14:12	J66a General Relativistic Dissipative Bondi Flow based on EIT 高橋劣太 (理化学研究所)
10:24	J57a クォーク・ハドロン混合相を考慮した高密度星の冷却過程 野田常雄 (九州大学)	14:24	J67a 磁気回転不安定性の非線形成長機構に対する粘性・磁気拡散の影響 政田洋平 (国立天文台)
10:36	J58a 有限温度系でのクォーク・ハドロン混合相における pasta 構造と天体への影響 安武伸俊 (国立天文台)		
10:48	J59a 三次元輻射輸送から探る相対論的ジェットの構造 秋月千鶴 (筑波大学)		
11:00	J60a 大局的輻射磁気流体シミュレーションによる α モデルの検証 竹内 駿 (京都大学)		
11:12	J61a 乱流粘性降着円盤の熱平衡曲線 廣瀬重信 (海洋研究開発機構)		
11:24	J62a 降着円盤磁気流体シミュレータの開発(5): 円筒座標系 3 次元コード 松元亮治 (千葉大学)		
11:36	J63a 2本腕変形した相対論的円盤での vertical resonance で励起される振動 加藤正二 (京都大学 OB)		
11:48	J64a Excitation of Trapped Oscillations in Accretion Disk around Black Holes II Finny Oktariani (Hokkaido University)		

K. 超新星爆発

9月14日(月) 午前・G会場		9月14日(月) 午後・G会場	
11:00	K01a 定在降着衝撃波によって引き起こすニュートリノ駆動型超新星爆発 諏訪雄大 (東京大学)	15:00	K13a 極めて明るいIa型超新星 SN 2009dcの可視近赤外観測 山中雅之 (広島大学)
11:12	K02a 定在降着衝撃波不安定性による中性子星キックの統計解析 岩上わかな (早稲田大学)	15:12	K14a 極めて明るいIa型超新星 SN 2009dcの偏光分光観測: 親星はチャンドラセカール質量を越えているか? 田中雅臣 (東京大学)
11:24	K03a 定在降着衝撃波不安定性により誘発された重力崩壊型超新星爆発における爆発的要素合成 藤本信一郎 (熊本電波高専)	15:24	K15a スーパー・チャンドラセカール質量の白色矮星の光度曲線 神谷保臣 (東京大学)
	K04c 定在降着衝撃波の不安定性(SASI)により駆動される重力崩壊型超新星爆発と元素合成 小野勝臣 (九州大学)	15:36	K16a 爆燃Ia型超新星爆発時におけるダスト形成 野沢貴也 (東京大学)
11:36	K05a ニュートリノ加熱機構における超新星爆発エネルギーの評価 山本 佑 (早稲田大学)	15:48	K17b Ia型超新星母銀河の輝線測定 小西功記 (東京大学)
11:48	K06a 強磁場超新星における磁気粘性の効果 澤井秀朋 (早稲田大学)	15:48	K18b 明るいX-ray transient 080109に付随した超新星 SN 2008Dの後期分光観測 田中雅臣 (東京大学)
12:00	K07b 超新星ニュートリノの集団振動によるエネルギースペクトルの変化 久野昌哉 (東京理科大学)		K19c 星表面の軽元素量を用いた超新星モデル導出法 中村 航 (国立天文台)
12:00	K08b フレーバー毎のニュートリノ温度を考慮した超新星背景ニュートリノの検出率予測 鈴木重太郎 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)	15:48	K20b WJN 電波トランジェントフリンジの再解析 青木貴弘 (早稲田大学)
12:00	K09b 超新星残骸 Cassiopeia Aの親星に対する制限 松尾康秀 (九州大学)	16:00	K21a 「すざく」による大マゼラン星雲内超新星残骸 N23の低温プラズマの発見 染谷謙太郎 (宇宙航空研究開発機構)
12:12	K10a 回転している星からのジェットブレイクアウト 長倉洋樹 (早稲田大学)	16:12	K22a 超新星残骸白鳥座ループ南東のシェルと分子雲との衝突 小杉寛子 (大阪大学)
12:24	K11a 超新星爆発 Shock-breakout に対する新自己相似解 村上匡且 (大阪大学)	16:24	K23a X線天文衛星「すざく」による超新星残骸 Velaの断片 B,C,Eの観測 吉井理恵 (理化学研究所/東京理科大学)
12:36	K12a 特異Ia型超新星が重力崩壊型超新星である可能性 守屋 堯 (東京大学)	16:36	K24a 「すざく」による超新星残骸 IC443からの放射性再結合連続X線の発見 山口弘悦 (理化学研究所)
		16:48	K25b X線衛星「すざく」による超新星残骸 W49Bからの強い放射再結合構造の発見 小澤 碧 (京都大学)
		16:48	K26b すざく衛星による超新星残骸 G12.0 0.1の観測 山内茂雄 (奈良女子大学)

L. 太陽系

9月14日(月) 午前・C会場		9月14日(月) 午後・C会場	
11:00	L01b 月探査衛星かぐや搭載レーザ高度計(LALT)による月の地形 野田寛大(国立天文台)	12:12	L13b 小惑星の宇宙風化作用によるカラー変化の解析 野沢由依(日本女子大学)
11:00	L02b かぐやの2つの子衛星の相対VLBI観測による月の重力場観測 花田英夫(国立天文台)	12:24	L14a 地球衝突天体の衝突回避について 吉川 真(宇宙航空研究開発機構)
11:00	L03b 土星の衛星からの水メーザー輝線検出の試み 高橋 茂(国立天文台)	12:36	L15a すばる望遠鏡の波面補償光学装置による小惑星の衛星探査 布施哲治(国立天文台)
11:12	L04a SELENE2での月回転・重力研究の提案 野田寛大(国立天文台)	12:48	L16b 太陽系小天体の発見観測と位置観測に最適化した可視広帯域フィルターの評価 奥村真一郎(日本スペースガード協会)
11:24	L05a 火星から始めるプロアマ連携惑星観測データアーカイブセンター構想 中串孝志(和歌山大学)	12:48	L17b 木曾観測所・夜天光全天カメラによる火球モニター(1977-1990)について 渡部潤一(国立天文台)
	L06c 木星の高気圧性渦の緯度分布について(その1) 浅田 正(九州国際大学)	12:48	L18b 超高感度デジタル一眼レフカメラの流星および流星痕観測への応用 戸田雅之(日本流星研究会)
11:36	L07a 自由回転運動の初期値問題の実用解 福島登志夫(国立天文台)	9月14日(月) 午後・C会場	
11:48	L08a 化石形状を記憶する準流体惑星の真の極移動について 原田雄司(国立天文台)	15:00	L19a ダスト・トレイル理論によるオリオン座流星群の突発出現の起源の解明 佐藤幹哉(国立天文台)
12:00	L09a Twotinosの軌道不安定性に自己重力が与える影響について 塚本裕介(東京大学)	15:12	L20a ホームズ彗星(17P/Holmes)アウトバーストによるチリ雲の物理特性と、彗星核の変化に関する考察 渡部潤一(国立天文台)
	L10c 近似Riemann Solverを用いた、非理想気体も扱えるGodunov SPH法 細野七月(東京工業大学)	15:24	L21a 彗星の酸素禁制線強度比に基づくCO ₂ /H ₂ O比の推定(3) 古荘玲子(国立天文台)
12:12	L11b 微惑星円盤内での微惑星連星形成 台坂淳子(国立天文台)	15:36	L22a 「あかり」衛星によるルーリン彗星(C/2007 N3)の近赤外線観測 大坪貴文(宇宙航空研究開発機構)
12:12	L12b 小惑星(349)Dembowskaの近赤外分光観測 黒田大介(国立天文台)		

M. 太陽

9月14日(月) 午後・C会場			
15:48	M01a 運動学的太陽ダイナモにおける乱流拡散分布の重要性 堀田英之(東京大学)	10:48	M11a 太陽フレア望遠鏡搭載・赤外ストークスポラリメータ 桜井 隆(国立天文台)
16:00	M02a 太陽対流層からの「2段階磁束浮上」 鳥海 森(東京大学)	11:00	M12a Ly α 偏光観測ロケット実験用偏光解析装置の開発 上田航平(国立天文台/東京大学)
16:12	M03a 高次表面波モードの固有振動数について 関井 隆(国立天文台)	11:12	M13b 太陽表面近傍の強差動回転領域における磁気回転不安定性とダイナモ 政田洋平(国立天文台)
16:24	M04a 距離-時間法における相互相関関数の統計的性質について 長島 薫(総合研究大学院大学)		M14c Dynamo action during grand minima 磯部洋明(京都大学)
16:36	M05a Oscillations in solar magnetic elements of numerical simulations 加藤成晃(宇宙航空研究開発機構)	11:12	M15b コロナ輝点の差動自転から知る磁場生成機構と生成領域 原 弘久(国立天文台)
16:48	M06a 太陽光球におけるMHD波動の観測による磁束管のサイズモロロジー 藤村大介(国立天文台/東京大学)	11:12	M16b 黒点をトレーサーとした太陽の自転測定(Cycles 22, 23) 鈴木美好(三重大学)
9月15日(火) 午前・C会場		11:24	M17b ひので衛星フレアカタログ作成 増田 智(名古屋大学)
10:00	M07a Characteristic Development of Magnetic Shear Structure in a Flare-productive Sunspot Obtained from Vector Magnetic-field Measurements by Hinode 真柄哲也(国立天文台)	11:24	M18b 太陽フレア現象中における白色光・硬X線放射と粒子加速 渡邊恭子(宇宙航空研究開発機構)
10:12	M08a 磁場の自由エネルギーを担う磁場構造について 山本哲也(名古屋大学)	11:24	M19b 太陽フレアにおける非熱的放射べき指数の、時間空間的振る舞いの硬X線と電波での比較(改) 浅井 歩(国立天文台)
10:24	M09a 太陽フレアを起こした活動領域におけるヘリシティ(α)の分散とテイラー緩和 萩野正興(国立天文台)	11:36	M20b フレアループ及びその上空における硬X線源運動の観測(3) 宮腰 純(総合研究大学院大学)
10:36	M10a 異なる180度不定性解法により得られた磁場データとそれに基く3次元太陽コロナ磁場構造の解析 井上 諭(海洋研究開発機構)	11:36	M21b 電波および軟X線観測に基づくコロナ中での微小粒子加速現象の研究II 岩井一正(東北大学)
		11:36	M22b 太陽高エネルギー粒子(SEP)加速に関する連結階層型モデリングの試み 塩田大幸(海洋研究開発機構)

11:48	M23b NOAA11022 の偏光観測のデータ解析と MHD モデル 野澤 恵 (茨城大学)	15:48	M34a 飛驒 - ひので共同観測による浮上磁場領域の Ca 線スペクトル解析 III 大辻賢一 (京都大学)
11:48	M24b マルチモーメント法による高精度移流方程式ソルバーの開発 養島 敬 (名古屋大学)	9月16日(水) 午前・C会場	
9月15日(火) 午後・C会場		10:00	M35a 光球磁場キャンセレーション領域における速度場の統計解析 飯田佑輔 (東京大学)
14:00	M25a 彩層 H α スピキュールの発達と光球磁場の関係について 末松芳法 (国立天文台)	10:12	M36a 黒点ライトブリッジ：彩層ジェット現象の持続性と磁気リコネクションについて 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)
14:12	M26a Spicules over Plage area 阿南 徹 (京都大学)	10:24	M37a 「ひので」XRT による彩層蒸発の直接イメージング観測 新田伸也 (筑波技術大学)
14:24	M27a 粒状班で駆動されたアルフベン波によるスピキュール形成およびコロナ加熱 松本琢磨 (京都大学)	10:36	M38a 活動領域コロナにおける MHD 振動のモードと EUV 強度の関係 北川直優 (東京大学)
14:36	M28a 静穏領域プロミネンスとダイナモ 岡本丈典 (国立天文台)	10:48	M39a 活動領域におけるイオン温度と非熱的速度の関係 今田晋亮 (宇宙航空研究開発機構)
14:48	M29a Hanle 効果で探る活動領域フィラメントの磁場・速度構造 勝川行雄 (国立天文台)	11:00	M40a EIS 観測波長域に見られる Fe XVII 輝線について 渡邊鉄哉 (国立天文台)
15:00	M30a On the stability of solar prominences due to ambipolar diffusion Kunwar Alkendra Pratap Singh (京都大学)	11:12	M41a 太陽コロナ構造とその温度・エミッションメジャーの時間変化について 成影典之 (国立天文台)
15:12	M31a Nonlinear stability analysis of the Kippenhahn-Shüller model for the solar prominence with ambipolar diffusion Andrew Hillier (Kyoto Univ.)	11:24	M42a 極域コロナ上空の温度の高さ構造と、コロナの多温度性について 鹿野良平 (国立天文台)
15:24	M32a 弱電離プラズマにおける電流シートの構造 磯部洋明 (京都大学)	11:36	M43a 温度依存性上昇流とコロナ温度について 柴崎清登 (国立天文台)
15:36	M33a 飛驒天文台 SMART および TRACE を用いた彩層 - 遷移層 - コロナ物質同時観測による、プロミネンス噴出の3次元ダイナミクス 森田 諭 (京都大学)	11:48	M44a 極域コロナホール・静穏領域・赤道域コロナホールの光球磁場構造と南北極域コロナホール磁場の中長期変動 伊藤大晃 (名古屋大学)

N. 恒星

9月16日(水) 午後・C会場	9月15日(火) 午前・B会場
14:00 M45a 太陽極域で発生するX線ジェットのパラメーターの発生頻度分布による研究 佐古伸治 (東海大学)	10:00 N01a 恒星大気に雲は存在するか? K型巨星 ARCTURUS の場合 辻 隆 (東京大学)
14:12 M46a 磁気流体計算によるプラズモイドの磁気ループ衝突とフェルミ加速 西塚直人 (京都大学)	10:12 N02a 近赤外スペクトルによるS型星の有効温度の評価 田中培生 (東京大学)
14:24 M47a UHF帯における太陽 Type-IV 電波バースト微細構造の観測研究 西村由紀夫 (東北大学)	10:24 N03a シリケート炭素星 BM Gem の伴星とシリケートダスト分布 泉浦秀行 (国立天文台)
14:36 M48a 太陽面からの逃走粒子生成機構について 簗島 敬 (名古屋大学)	10:36 N04a 「あかり」遠赤外線全天サーベイカタログ改訂版 ($\beta -2$) の作成 山村一誠 (宇宙航空研究開発機構)
14:48 M49a 非線形フォース・フリー磁場モデルを利用した数値実験に基づくフレア発生機構の研究 草野完也 (海洋研究開発機構 / 名古屋大学)	10:48 N05a 「あかり」による褐色矮星の近赤外線分光観測 III. Phase3 観測データによるスペクトルの進化 空華智子 (東京大学)
15:00 M50a プラズモイド噴出を伴う太陽フレアの磁気流体シミュレーション 西田圭佑 (京都大学)	11:00 N06a 「あかり」で探る大マゼラン雲内の炭素星の 2-5 μm スペクトルに見られる変光の性質 下西 隆 (東京大学)
15:12 M51a 惑星間空間における太陽高エネルギー粒子の伝播 久保勇樹 (情報通信研究機構)	11:12 N07a 赤外線天文衛星「あかり」による V2468 CYGNI の近赤外分光観測 左近 樹 (東京大学)
	11:24 N08a 遠赤外微細構造線で探る η Carinae 星周電離ガス 小坂 文 (東京大学)
	11:36 N09a ぐんま天文台における炭素星の高分散分光観測 橋本 修 (ぐんま天文台)
	11:48 N10a 新星 V1280 Sco の高分散可視分光観測 定金晃三 (大阪教育大学)
	12:00 N11b 高分散分光観測による分光連星系の軌道要素の決定 加藤則行 (神戸大学)
	12:00 N12b すばる MOIRCS による銀河リッジ X線放射の起源天体の多天体分光観測 森鼻久美子 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)

9月15日(火) 午後・B会場		9月16日(水) 午前・B会場	
14:00	N13a エータカリーナの位置に発見されたガンマ線天体のフェルミ衛星による解析 高橋弘充 (広島大学)	15:48	N25a ミラ型変光星に対する距離と減光の導出：銀河中心領域への応用 松永典之 (東京大学)
14:12	N14b Suzaku 衛星を用いた Wolf-Rayet 連星系 WR140 の Mass-loss rate の推定 菅原泰晴 (中央大学)	16:00	N26b II 型セファイドの周期光度関係と距離指標としての確立 松永典之 (東京大学)
14:12	N15b 「すざく」衛星による Cygnus OB2 Association の観測 吉田正樹 (立教大学)		N27c ミラ型変光星 VX UMa の年周視差測定・詳細なメーザー源像合成と最終結果 倉山智春 (鹿児島大学)
14:12	N16b はくちょう座 X-3 の放射性再結合成分と輝線の公転位相による変動 北本俊二 (立教大学)	9月16日(水) 午前・B会場	
14:24	N17a すざく衛星による Algol からの恒星フレアの X 線観測 石川真之介 (宇宙航空研究開発機構)	10:00	N28a 超金属欠乏星と初期銀河系の化学進化 小宮 悠 (国立天文台)
14:36	N18a Be/X 線連星 A0535+26 の長周期 V/R 比変動の検出 森谷友由希 (京都大学)	10:12	N29a CEMP-rs stars の起源 山田志真子 (北海道大学)
14:48	N19a Wolf-Rayet 星の可視光および近赤外分光観測による輝線比とサブクラス分類 高橋英則 (ぐんま天文台)	10:24	N30a 銀河系におけるアクチノイド元素トリウム合成と蓄積 青木和光 (国立天文台)
15:00	N20a Wolf-Rayet 星の大質量星形成領域での探索 川端拡信 (武蔵高等学校中学校)	10:36	N31a 超低金属星におけるリチウム組成のふるまい 伊藤紘子 (総合研究大学院大学)
15:12	N21a 一酸化珪素メーザー $v=3$ $J=1-0$ 輝線の VLBI による初撮像 今井 裕 (鹿児島大学)		N32c Sodium Abundance Determination of A-Type Stars from Na I D Lines 竹田洋一 (国立天文台)
15:24	N22a 鹿児島 1m による AGB 星の物理量とその変化量の推定 松井 真 (鹿児島大学)		N33c 恒星進化に対してゼロ年齢主系列段階における金属量の違いが与える影響と、球状星団における観測との比較 辻本英之 (九州大学)
15:36	N23a G型巨星の太陽型振動について 安藤裕康 (国立天文台)		
	N24c IRSF/SIRIUS 大小マゼラン銀河 JHKs 変光星サーベイ：初期成果 板 由房 (国立天文台)		

P. 星・惑星形成

9月14日(月) 午前・E会場		9月14日(月) 午後・E会場	
11:00	P01a HII領域と相互作用する分子雲表面の微細構造と乱流の起源 立原研悟(国立天文台)	12:48	P13b 近赤外偏光観測によるM42の高偏光度天体 日下部展彦(国立天文台)
11:12	P02a Radiation-Driven ImplosionにおけるFUVの影響 本山一隆(国立天文台)	12:48	P14b 磁場の力が卓越した分子雲でのコア形成:超音速流の影響 工藤哲洋(国立天文台)
11:24	P03a オリオン星雲における広視野近赤外円偏光撮像観測と多天体円偏光観測 福江翼(国立天文台)	9月14日(月) 午後・E会場	
11:36	P04a 整列した楕円体状塵粒子による大きな円偏光:オリオン分子雲1への応用 松村雅文(香川大学)	15:00	P15a 大質量星形成領域Cepheus Aにおける6.7GHzメタノールメーザの内部固有運動計測 杉山孝一郎(山口大学)
11:48	P05b ほ座分子雲に付随するブライトリム分子雲BRC57の近赤外線撮像観測 田中温子(神戸大学)	15:12	P16a DNC/HNC比から探る大質量星形成初期状態 酒井剛(東京大学)
11:48	P06b UCHII領域S269の6.7GHzメタノールメーザーアウトフロー 澤田-佐藤聡子(山口大学)	15:24	P17a ミリ波による誘発的星形成領域BRC14の詳細観測 丹羽隆裕(兵庫県立西はりま天文台公園)
11:48	P07b Physical relation between Orion-IRc2 and the radio source "1" 奥村真一郎(日本スペースガード協会)	15:36	P18a IMFの冪乗則は分子雲のどの密度構造で決定されるか? 池田紀夫(宇宙航空研究開発機構)
12:00	P08a 分子雲コアの磁場構造:湾曲磁場の発見とその3次元構造について 神鳥亮(国立天文台)	15:48	P19b AKARI衛星による星形成領域の赤外線撮像観測:2 佐藤八重子(総合研究大学院大学)
12:12	P09a 近傍暗黒星雲コアにおけるNH ₃ /CCS比の統計的研究 廣田朋也(国立天文台)	15:48	P20b ASTEによる南天大質量星形成領域の大型有機分子探査III 亀谷和久(宇宙航空研究開発機構)
12:24	P10a 超新星衝撃波と分子雲の相互作用 井上剛志(国立天文台)	15:48	P21b 誘発的星形成領域BRC13の近赤外撮像観測 林実幸(神戸大学)
12:36	P11a オリオンA分子雲の広域観測:外的要因と星団形成の関係 島尻芳人(東京大学)		P22c HII領域W5に付随するBRC12における集団的星形成 福田尚也(岡山理科大学)
12:48	P12b 巨大分子雲CygOB7に埋もれた大質量分子雲コアの観測的研究 秋里昂(東京学芸大学)	16:00	P23a Physical studies of Low-Mass Star Forming Region: Pipe Nebula 福江慧(東京大学)

16:12	P24a	Deuterated Molecules in the Low-Mass Star Forming Region, L1527 坂井南美 (東京大学)	10:48	P35b	ペルセウス座分子雲に付随する低質量 YSO の可視中分散分光観測 伊藤洋一 (神戸大学)
16:24	P25a	大質量 'Class 0' 候補天体 NGC2264MMS3 の双極分子流 猿渡 修 (東京大学)	10:48	P36b	固有運動による散開星団に属する天体の探査 橋口敏郎 (神戸大学)
16:36	P26a	おおかみ座における炭素鎖分子の豊富な星なしコアの発見 椎野竜哉 (東京大学)	11:00	P37a	大質量星形成条件：輻射圧による円盤表面からの剥ぎ取り 田中 圭 (東京工業大学)
16:48	P27b	Hot Gas の膨張により形成される高密度シェル分裂過程 岩崎一成 (大阪大学)	11:12	P38a	周連星円盤からのアウトフロー 町田正博 (京都大学)
16:48	P28b	早期双極分子流の形状と磁場の効果の観測可能性 山田雅子 (台湾中央研究院)	11:24	P39a	近接連星 V4046 Sgr の幅広い輝線の解釈 花輪知幸 (千葉大学)
16:48	P29b	若い超低質量天体の赤外測光 / 分光観測 大朝由美子 (埼玉大学)	11:36	P40b	赤外線天文衛星「あかり」によるベガ型星の伴星探査 小野綾子 (神戸大学)
9月15日(火) 午前・E会場					
10:00	P30a	可視 I バンド高分散分光観測による前主系列星の年齢決定 高木悠平 (神戸大学)	11:36	P42b	多重格子輻射流体シミュレーションによる低質量星形成過程の研究 富田賢吾 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
10:12	P31a	VERA による若い大質量原始星に付随する高速 H ₂ O メーザー源 G353.2+0.6 の VLBI 観測 元木業人 (北海道大学)	11:48	P43b	数値シアー粘性の小さな衝撃波捕獲型 SPH 法の開発 釣部 通 (大阪大学)
10:24	P32a	低金属度での原始星形成過程 大向一行 (国立天文台)	11:48	P44b	連星へのガス降着に対する半解析的アプローチ 田中 優 (大阪大学)
10:36	P33a	低金属量ガス雲中での星形成シミュレーション 吉田直紀 (東京大学)			
10:48	P34b	Class II CH ₃ OH メーザー源に付随する H ₂ O メーザー探査 元木業人 (北海道大学)			

9月15日(火) 午後・E会場			
14:00	P45a 「あかり」中間赤外線全天サーベイによるTタウリ型星探査I 瀧田 伶 (総合研究大学院大学)	15:24	P56a 原子惑星系円盤におけるダストの衝突電荷分離について 村主崇行 (京都大学)
14:12	P46a Discovery of a cold massive disk around weak line T Tauri star in Lupus 塚越 崇 (東京大学)	15:36	P57b 汎用グラフィックボードによるダストプラズマの電荷平衡の計算について 村主崇行 (京都大学)
14:24	P47a Tタウリ型連星 FS Tauri に付随する原始惑星系の観測的研究 日置智紀 (神戸大学)	15:36	P58b 差動回転円盤の局所回転系における流体計算のための流れ出し境界条件 武藤恭之 (京都大学)
14:36	P48b すばる望遠鏡 CIAO による LkH α 234 の近赤外線高解像度観測 加藤恵理 (大阪大学)	15:36	P59b 海惑星の大気構造の多様性について 黒川宏之 (東京工業大学)
14:36	P49b 原始惑星系円盤からの水素分子輝線: 2-1 S(1)/1-0 S(1) 輝線比の観測と円盤内ダスト進化 野村英子 (京都大学)	15:48	P60b ロシター効果に対する摂動公式の改良: 吸収線の形状の効果 平野照幸 (東京大学)
14:36	P50b 近傍の大質量星による原始惑星系円盤ガスの光蒸発散逸計算 田村隆哉 (京都大学)	15:48	P61b 階層三体系におけるランダムウォーク的進化の検証 齋藤正也 (統計数理研究所)
14:48	P51b コンドリュールと宇宙塵内の空隙の有無の違いについて 土居政雄 (東京工業大学)	9月16日(水) 午前・E会場	
14:48	P52b 原始惑星系円盤中でのダストと磁気回転乱流の同時進化のモデル化 奥住 聡 (京都大学)	10:00	P62a 背景ガス中の重力不安定による微惑星形成のN体シミュレーション 道越秀吾 (国立天文台)
14:48	P53b 磁気回転不安定性の不均一な成長による微惑星形成 加藤真理子 (東京工業大学)	10:12	P63a 原始惑星系円盤の発現と巨大惑星の形成について 犬塚修一郎 (名古屋大学)
15:00	P54a 原始惑星系円盤における化学分化: ケイ酸塩と金属ダストの不均質凝縮の役割 永原裕子 (東京大学)	10:24	P64a 共鳴軌道にある天体の軌道安定性 松本侑士 (東京工業大学)
15:12	P55a 低質量Tタウリ型星 FN Tauri からの340 GHz ダスト連続波高分解能観測 百瀬宗武 (茨城大学)	10:36	P65a 暴走ガス捕獲段階における原始ガス惑星のガス集積率 堀 安範 (東京工業大学)
		10:48	P66a 円盤風が原始惑星系円盤進化と惑星形成に与える影響 鈴木 建 (東京大学)
		11:00	P67a 短周期スーパー地球の理論的解剖: CoRoT-7b の質量と組成の推定 生駒大洋 (東京工業大学)

Q. 星間現象

		9月14日(月) 午後・D会場
11:12	P68a	スーパー地球の内部熱進化と固有磁場の形成について 立浪千尋 (東京工業大学)
11:24	P69a	系外惑星大気：太古代地球大気中の硫化カルボニルの存在とオゾン検出について 中本泰史 (東京工業大学)
11:36	P70a	測光観測による地球型惑星の表面組成の推定法 藤井友香 (東京大学)
11:48	P71a	N2K コンソーシアムによる系外惑星探査 原川紘季 (東京工業大学)
		9月16日(水) 午後・E会場
14:00	P72a	すばる/HDSによる中質量G型巨星周りの系外惑星探索 佐藤文衛 (東京工業大学)
14:12	P73a	中質量G型巨星HD119445を周回する褐色矮星の発見 大宮正士 (東海大学)
14:24	P74a	MOA-IIによる複数レンズイベントMOA-2008-BLG-428の解析 保坂 俊 (名古屋大学)
14:36	P75a	MOA-IIによる系外惑星探索：2008年の結果と2009年の経過報告 三宅範幸 (名古屋大学)
14:48	P76a	口径1.8m MOA-II望遠鏡を用いたOGLE-TR-10bのTransit Timing Variations (TTVs)の観測 福井暁彦 (名古屋大学)
15:00	Q01a	銀河系中心の「大きな」中心核円盤の起源と進化 岡 朋治 (慶應義塾大学)
15:12	Q02a	銀河系中心CMZの西端で発見された螺旋状“pigtail”分子雲 松村真司 (慶應義塾大学)
15:24	Q03a	銀河系中心分子雲領域の多輝線サーベイ観測 田中邦彦 (慶應義塾大学)
15:36	Q04a	つくば32m電波望遠鏡を用いた銀河系中心領域アンモニア輝線観測 永井 誠 (筑波大学)
15:48	Q05a	銀河系中心部磁気浮上ループ-CO高励起線を用いた詳細観測 - 鳥居和史 (名古屋大学)
16:00	Q06a	冷却を考慮した銀河ガス円盤の3次元磁気流体数値実験 町田真美 (名古屋大学)
16:12	Q07a	銀河系中心領域の近赤外線偏光観測III ~偏光効率~ 羽田野裕史 (名古屋大学)
16:24	Q08a	鹿児島6m電波望遠鏡による銀河系中心領域のNH ₃ 分子輝線観測：銀河系中心領域における低温ダスト上でのNH ₃ 分子生成 永山 匠 (鹿児島大学)
16:36	Q09a	銀河系中心からの中性輝線放射の謎(2) 信川正順 (京都大学)
16:48	Q10a	すざく衛星による超新星残骸G359.1-0.5の観測 大西隆雄 (京都大学)

9月15日(火) 午前・D会場		9月15日(火) 午後・D会場	
10:00	Q11a ずざく衛星による Arches 星団近傍の X 線観測 澤田真理 (京都大学)	11:36	Q23b 日印共同気球実験による星形成領域 RCW38 の遠赤外線 [CII] マッピング観測 田辺光弘 (名古屋大学)
10:12	Q12a 「ずざく」による 1E 1740.7-2942 (Great Annihilator) 周辺構造の観測 中島真也 (京都大学)	11:48	Q24b 大質量星形成開始直前の巨大分子雲 CygOB7 の巨視的な物理状態の解明 高木知里 (東京学芸大学)
10:24	Q13a 「ずざく」による γ 線散開星団 Westerlund 2 の観測 藤田 裕 (大阪大学)	11:48	Q25b ρ Oph メインクラウドにおける分子雲コアの物理的性質 西 亮一 (新潟大学)
10:36	Q14a 超新星残骸 Vela Jr. からの熱的 X 線放射成分の探査 平賀純子 (理化学研究所)		Q26c 星生成領域 GGD27 における XMM-Newton 衛星による X 線観測 鶴澤明子 (中央大学)
10:48	Q15a Chandra 衛星を用いた HII 領域 RCW89 の移動速度の測定 中嶋英也 (東京工業大学)		Q27c カシオペア A 超新星残骸での粒子加速 前田良知 (宇宙航空研究開発機構)
11:00	Q16a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による TeV パルサー星雲 MSH15-52 の観測 中森健之 (東京工業大学)	9月15日(火) 午後・D会場	
11:12	Q17a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸 W28 の観測 片桐秀明 (広島大学)	14:00	Q28a Fermi γ 衛星によるカメレオン座分子雲の観測 林 克洋 (広島大学)
11:24	Q18b X 線天文衛星ずざくを用いた散光星雲 M17 付近における拡散放射の観測 石田光宏 (中央大学)	14:12	Q29a フェルミ衛星による、拡散 γ 線放射の観測と銀河系宇宙線 水野恒史 (広島大学)
11:24	Q19b ずざくによる TeV 未同定天体 TeV J2032+4130 の観測 II 村上弘志 (立教大学)	14:24	Q30a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸 W49B の観測 勝田隼一郎 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)
11:24	Q20b PAMELA anomaly の超新星爆発による説明 藤田 裕 (大阪大学)	14:36	Q31a 無衝突垂直衝撃波の非周期的かつ局所的な PIC シミュレーション 大平 豊 (大阪大学)
11:36	Q21b NANTEN2 による大マゼラン雲の観測: 巨大分子雲複合体 - アーク領域の観測 河村晶子 (名古屋大学)	14:48	Q32a パルサー星雲のスペクトル進化 田中周太 (大阪大学)
11:36	Q22b ふたご座分子雲複合体 Gem OB1 の NH3 輝線観測 井村健二 (鹿児島大学)	15:00	Q33a NANTEN2 プロジェクトの進捗 奥田武志 (名古屋大学)
		15:12	Q34a NANTEN2 による W28 領域の高感度分子雲観測 大石慧介 (名古屋大学)

15:24	Q35a 巨大星団 Westerlund2 に付随する分子雲の温度と密度の分布の解明 大濱晶生 (名古屋大)	11:12	Q46a オリオン座 A 巨大分子雲のコアの化学的性質 立松健一 (国立天文台)
15:36	Q36a 超新星残骸 RX J1713.7-3946 に付随する分子雲 佐野栄俊 (名古屋大学)	11:24	Q47a 近傍分子雲におけるガス・ダスト比と見えないガス成分の定量 土橋一仁 (東京学芸大学)
15:48	Q37a AzTEC-ASTE 1.1mm Observations toward a Quiescent Giant Molecular Cloud in the Large Magellanic Cloud 南谷哲宏 (北海道大学)	11:36	Q48a Subaru/COMICS を用いた compact HII 領域 M17 の中間赤外分光観測 高橋安大 (総合研究大学院大学)
	Q38c 近-中間赤外線波長域での星間減光則 西山正吾 (京都大学)	11:48	Q49a 赤外 17 ミクロン領域に見られるピーク群について 和田節子 (-)
	Q39c 散乱法を用いた炭素・炭素質物質の赤外スペクトル測定 木村誠二 (電気通信大学)		
9月16日(水) 午前・D会場		9月16日(水) 午後・D会場	
10:00	Q40a 「あかり」による遠赤外線拡散光全天マッピング III 土井靖生 (東京大学)	14:00	Q50a 晩期星周囲で PAH から作られる炭素質粒子 齊藤 碧 (分子科学研究所)
10:12	Q41a AKARI Observations of the Supernova Remnant Kes 17 Ho-Gyu Lee (The University of Tokyo)	14:12	Q51a 惑星状星雲における多環芳香族炭化水素 (PAH) の年齢依存性 大澤 亮 (東京大学)
10:24	Q42a 野辺山 45m 望遠鏡レガシープロジェクト: ラインサーベイ観測 (II) 高野秀路 (国立天文台)	14:24	Q52a 6-9 μm バンプを担う PAH の骨格構造 木村誠二 (電気通信大学)
10:36	Q43a L1157 の衝撃波領域におけるラインサーベイ 山口貴弘 (東京大学)	14:36	Q53a 実験から導かれたシリケート微粒子の新しい生成過程 木村勇氣 (東北大学)
10:48	Q44a 野辺山 45m 鏡 M33 レガシープロジェクト II: 巨大分子雲と星形成 小野寺幸子 (国立天文台)		
11:00	Q45a 矮小銀河から銀河系ハローへの星間物質流出 釜谷秀幸 (防衛大学校)		

R. 銀河

9月14日(月) 午前・B会場		9月14日(月) 午後・B会場	
11:00	R01a 銀河面外一酸化珪素メーザー探査： 星流の検出 出口修至（国立天文台）	12:48	R13b VSOP-2 KSP（水蒸気メーザー）の 検討進捗状況 今井 裕（鹿児島大学）
11:12	R02a 6.7 GHz メタノールメーザを用いた W3(OH) の位置天文観測 磯野靖子（名古屋大学）	12:48	R14b 母銀河からのガス供給のもとでの銀河 系中心部の大質量ガス円盤の進化 行方大輔（北海道大学）
11:24	R03a VERA による銀河系いて座腕方向 G14.33 0.64 年周視差計測 佐藤真弓（東京大学）	13:00	R15b 「あかり」中間赤外線全天サーベイ点 源カタログ 石原大助（名古屋大学）
11:36	R04a 銀河系中心 SgrB2 領域の H^{13}CO^+ 、 SiO 輝線観測 坪井昌人（宇宙航空研究開発機構）	13:00	R16b 高解像度数値シミュレーションによる M83 棒状銀河の星形成過程の解明 伊藤 貴（北海道大学）
11:48	R05a 多種分子輝線観測による銀河系中心 分子雲帯の研究 但木謙一（東京大学）		R17c 球状星団の Fokker-Planck モデルに おける定常潮汐場の扱い方の再考 II- 多質量成分系の場合 高橋広治（埼玉工業大学）
12:00	R06b 近赤外線偏光観測による銀河系中心 部の磁場構造の研究 西山正吾（京都大学）		R18c 可視光画像を用いた渦状銀河パター ン速度：Spiral arm, Bar, Tidal arm 坂井伸行（鹿児島大学）
12:00	R07b 大小マゼラン雲の固有運動とマゼラン 雲流の形成 沢 武文（愛知教育大学）		R19c 銀河系と近傍矮小銀河のミラ型変光 星探査 松井 真（鹿児島大学）
12:00	R08b AMANOAWA-2SB 銀河面サーベイ： その進捗と現状 半田利弘（東京大学）		
12:12	R09a 系外銀河における Probability Distribution Function の関数形。 依田崇弘（東京大学）		
12:24	R10a N 体シミュレーションを用いたアンドロ メダ・ストリームの速度構造の解析 三木洋平（筑波大学）		
12:36	R11a コア構造ハローによる力学的摩擦抑制 のメカニズム 井上茂樹（東北大学）		
12:48	R12b 一酸化珪素メーザーを用いた銀河系 円盤の動力学 坂本 強（日本スペースガード協会）		
		15:00	R20a X線光度の異なる楕円銀河周辺での 矮小銀河の可視光光度関数 戸塚 都（東京理科大学）
		15:12	R21a Suprime-Cam による NGC6946 外縁部 の星形成の描像 梅畑豪紀（東京大学）
		15:24	R22a 「あかり」と Spitzer 衛星による近傍楕 円銀河の PAH の観測 金田英宏（名古屋大学）
		15:36	R23a 「あかり」による近傍銀河 NGC3079 のダストの赤外線観測 山岸光義（名古屋大学）

S. 活動銀河核

		9月14日(月) 午前・A会場		
15:48	R24a	近傍銀河M33の1.1mm全面サーベイ：温度勾配と低温ダストの加熱源 小麦真也(宇宙航空研究開発機構)	11:00 S01a	AGN近傍の分子ガス構造 和田桂一(国立天文台/鹿児島大学)
16:00	R25b	棒渦巻銀河NGC 4303における分子ガスと星形成II 百瀬莉恵子(東京大学)	11:12 S02a	活動銀河核100pc付近の輻射流体モデルの構築 須佐元(甲南大学)
16:00	R26b	棒渦巻銀河NGC 3627の星形成と分子ガス観測 渡辺祥正(北海道大学)	11:24 S03a	「すざく」衛星によるセイファート銀河の時間変動解析 仁木大祐(名古屋大学)
16:00	R27b	アンテナ銀河(NGC4038/39)の ¹³ CO(J=1-0)マッピング観測 金子紘之(総合研究大学院大学/国立天文台)	11:36 S04a	広帯域X線スペクトル解析と時間変動解析を用いたSeyfert銀河X線スペクトルの成分分離 平木一至(広島大学)
16:12	R28a	相互作用銀河における星団形成過程の解明 斎藤貴之(国立天文台)	11:48 S05a	NGC1068のNarrow-Line Regionでのガスの励起構造と速度構造 尾崎忍夫(国立天文台)
16:24	R29a	ASURAによる様々な衝突パラメータを用いた渦巻き銀河衝突実験 松井秀徳(国立天文台)	12:00 S06a	活動銀河核の可視光光度の多波長時間変動モデル 川口俊宏(青山学院大学)
16:36	R30a	渦状腕構造と星間ガスの相互作用 馬場淳一(国立天文台)	12:12 S07a	遠方クエーサーの狭輝線領域のサイズ測定 米原厚憲(京都産業大学)
16:48	R31a	渦巻銀河における恒星渦状腕の動力学進化 藤井通子(東京大学)	12:24 S08a	偏光分光観測によるクエーサーアウトフローガス構造解明の試み 三澤透(理化学研究所)
			12:36 S09b	「すざく」衛星を用いた1.9型セイファート銀河NGC 7314に見られるX線スペクトル変動の研究 河原大(愛媛大学)
			12:36 S10b	「すざく」によるBroad Line Radio Galaxy 3C 382の観測 瀬田裕美(埼玉大学)
			12:36 S11b	すざく衛星による狭輝線1型セイファート銀河TonS180のワイドバンドX線観測(2) 高橋宏明(大阪大学)

12:48	S12b	「すざく」衛星で探る近傍 Compton Thick 活動銀河核 粟木久光 (愛媛大学)	16:36	S23a	AGN ジェットの力学：陽子卓越か？ペ アプラズマ卓越か？ 紀 基樹 (国立天文台)
12:48	S13b	Circinus Galaxy への X 線スペクトルシ ミュレーションモデルの適用 米谷哲明 (愛媛大学)	16:48	S24b	Broad Absorption Line/Giga-hertz Peaked Spectrum クェーサー？： Japanese VLBI Network による VLBI 多周波観測 土居明広 (宇宙航空研究開発機構)
12:48	S14b	赤外線衛星「あかり」の近赤外線 分光で高温ダストが発見された銀 河 :LEDA 84274 大藪進喜 (宇宙航空研究開発機構)	16:48	S25b	NGC 1052 のジェット運動解析に基づく ブラックホール連星パラメータ 恵川 司 (鹿児島大学)
9月14日(月) 午後・A会場			16:48	S26b	近赤外線二色図上における AGN の性 質：Hyperz を用いたモンテカルロ・シ ミュレーション 高妻真次郎 (九州大学)
15:00	S15a	Fermi ガンマ線望遠鏡による電波銀河 Cen A、M87 の観測 深沢泰司 (広島大学)		S27c	3C 84 のフレア極初期におけるコアの 構造変化の調査 鈴木賢太 (東京大学)
15:12	S16a	Fermi 衛星で探る高赤方偏移 GeV ガ ンマ線ブレイザー天体：宇宙再電離、 UV 背景放射の解明に向けて 井上芳幸 (京都大学)		S28c	弱い電波放射を伴う γ 線活動銀河の パーセクスケールの構造 輪島清昭 (山口大学)
15:24	S17a	かなた望遠鏡と Fermi ガンマ線衛星に よるブレイザー天体 3C279 の同時観測 伊藤亮介 (広島大学)	9月15日(火) 午前・A会場		
15:36	S18a	可視領域におけるブレイザーの光度変 動に伴う色、偏光変動の系統的調査 池尻祐輝 (広島大学)	10:00	S29a	The Production of Highest Energy Cosmic Rays at the Early Epochs of Radio-loud AGN 高見 一 (数物連系宇宙研究機構)
15:48	S19a	ベイズ的手法を用いたブレイザーの可 視偏光の成分分離 植村 誠 (広島大学)	10:12	S30a	系外宇宙線加速源での高エネルギー 反陽子生成と観測からの制限 川中宣太 (高エネルギー加速器研 究機構)
16:00	S20a	ブレイザー PKS 1510 089 における突 発的な可視光フレアの観測 笹田真人 (広島大学)	10:24	S31a	巨大ブラックホールの起源：原始バイ ナリーブラックホールとその宇宙論的 進化 早崎公威 (北海道大学)
16:12	S21a	VLBI による 3C 84 の中心核ジェットの 観測 永井 洋 (国立天文台)			
16:24	S22a	AGN ジェットが駆動するシェルからの 非熱的放射 伊藤裕貴 (東京大学)			

T. 銀河団

9月14日(月) 午前・H会場		9月14日(月) 午後・H会場	
11:00	T01a 衝突銀河団 1E0657-56 における非平衡電離・2温度状態の数値実験Ⅱ 赤堀卓也 (忠南大学)	15:00	T11a すざく衛星による Abell496 銀河団の重元素分布の決定 川西恭平 (東京理科大学)
11:12	T02a 衝突銀河団における Sunyaev-Zel'dovich 効果 吉川耕司 (筑波大学)	15:12	T12a 「すざく」衛星による衝突銀河団 Abell 2142 のオフセット観測 赤松弘規 (首都大学東京)
11:24	T03a 宇宙論に基いた銀河団ハローの形状進化 河原 創 (東京大学)	15:24	T13a すざく衛星による WHIM 検出を目指した Shapley supercluster の観測 三石郁之 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)
11:36	T04a X線と弱重力レンズによる ZwCl0823.3+0425 銀河団周辺の大規模構造フィラメントの解析 渡邊瑛里 (山形大学)	15:36	T14b 「すざく」による電波銀河 PKS2356-61 の X線起源の特定 下田優弥 (埼玉大学)
11:48	T05a XMM-Newton 衛星による Fornax 銀河団のオフセット観測 村上英義 (東京理科大学)	T15c Brightest Cluster Galaxies の統計的性質 隈井泰樹 (熊本学園大学)	
12:00	T06a 「すざく」による Abell 1689 銀河団外縁部の高温ガスの研究 川原田 円 (理化学研究所)		
12:12	T07a 「すざく」衛星によるペルセウス銀河団の X線分光と重元素組成比の測定 田村隆幸 (宇宙航空研究開発機構)		
12:24	T08a すざく衛星による衝突銀河団 Abell 85 の観測: 温度マップと subcluster の衝突方向 田中伸広 (国立天文台)		
12:36	T09a 「すざく」による Triangulum-Australis 銀河団の観測 中島健太 (東京大学)		
12:48	T10a すざく衛星による近傍の明るい銀河団 Abell 3627 の観測 西野 翔 (広島大学)		

U. 宇宙論

9月14日(月) 午前・I会場				
11:00	U01a	宇宙膨張論の検証 XIII 空間膨張宇宙の光の軌跡 (9) 決め手は「視直径-赤方偏移率」相関図 阿武靖彦 (一)	13:00 U11b	バリオン音響振動を用いた暗黒エネルギーの研究: 銀河バイアスの影響 西道啓博 (東京大学)
11:12	U02a	初期天体の輻射圧による宇宙の磁場の生成 安藤征史 (甲南大学)	13:00 U12b	${}^4\text{He}$ 光分解の新データを用いたビッグバン元素合成時期の長寿命粒子放射性崩壊への新しい制限と ${}^6\text{Li}$ 問題の解 日下部元彦 (東京大学)
11:24	U03a	電子温度の緩和過程を考慮した第一世代超新星残骸中の種磁場の生成 花山秀和 (国立天文台)	13:00 U13b	宇宙背景輻射における非線形超大規模構造の痕跡 坂井伸之 (山形大学)
11:36	U04a	強い相互作用をする長寿命粒子へのビッグバン元素合成からの制限 日下部元彦 (東京大学)	13:12 U14b	宇宙論における Ghost condensation 古川智則 (名古屋大学)
11:48	U05a	初期密度ゆらぎの非ガウス性とグラビティノーダークマター 横山修一郎 (名古屋大学)	U15c	宇宙年齢と宇宙初期の振る舞いからの Brans-Dicke 重力理論に関する制限 鈴木隆之 (山口大学)
12:00	U06a	密度揺らぎのパワースペクトルおよびその共分散行列に対する観測領域外の情報の影響 加用一者 (東京大学)	U16c	背景重力波と初期磁場 山崎 大 (Academia Sinica)
12:12	U07a	A Brute Force Reconstruction of the Primordial Fluctuation Spectrum from Five-Year Wilkinson Microwave Anisotropy Probe Observations 市来浄興 (名古屋大学)	U17c	Quantization on a Category via Equivalence of Categories 中山薫二 (龍谷大学)
12:24	U08a	Weak lensing by supervoids 井上開輝 (近畿大学)		
12:36	U09a	CMB レンズングと銀河の弱重力レンズ効果の相関を用いた宇宙論パラメータの推定 並河俊弥 (東京大学)		
12:48	U10a	中高温銀河間物質のマッピングを通じた大規模構造の観測の展望 竹井 洋 (宇宙航空研究開発機構)		

V. 地上観測機器

9月14日(月) 午後・H会場		9月15日(火) 午前・H会場	
15:48	V01b 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡赤外偏光観測キャリブレーション 阿南 徹 (京都大学)	16:24	V14a MOA II 望遠鏡の広視野化計画 阿部文雄 (名古屋大学)
15:48	V02b 太陽補償光学系 KIT-AO の開発 : 装置開発状況 (2) 三浦則明 (北見工業大学)		V15c 美星スペースガードセンターにおける観測環境の整備 奥村真一郎 (日本スペースガード協会)
	V03c 太陽補償光学系 KIT-AO の開発 : マルチコンジュゲート模擬実験系の設置 三浦則明 (北見工業大学)	16:36	V16a 岡山 3.8m 新技術望遠鏡の開発 X : 超精密研削加工による主鏡製作 舞原俊憲 (ナノオプト)
15:48	V04b 太陽偏光分光観測用赤外線カメラの性能評価 II 鈴木 勲 (国立天文台)	16:48	V17b 岡山 3.8m 新技術望遠鏡の開発 XI: 主鏡研削のための鏡材保持機構 下農淳司 (京都大学)
16:00	V05b 太陽観測用ポラリメーターにおける実用的な偏光較正方法 花岡庸一郎 (国立天文台)	16:48	V18b 京大岡山 3.8m 新技術望遠鏡の開発 XII : 主鏡位置制御機構の駆動試験 森谷友由希 (京都大学)
	V06c 岡山 188cm 鏡と高分散分光器 HIDES の光ファイバリンク化計画 神戸栄治 (国立天文台)		
16:00	V07b HOWP _{ol} を用いたナスミス焦点における器械偏光の評価 小松智之 (広島大学)	10:00	V19a TMT30m 光赤外望遠鏡計画の進捗 高見英樹 (国立天文台)
16:00	V08b DMC performance and observations of star clusters M13 and Ruprecht 8 Hanindy Kuncarayakti (東京大学)	10:12	V20a 日本における TMT セグメント鏡製作プランの検討 山下卓也 (国立天文台)
16:12	V09b 複眼望遠鏡の開発 II 松木 舞 (神戸大学)	10:24	V21a TMT セグメント鏡用ガラス材のサブサーフェス・ダメージの測定 秋田谷 洋 (国立天文台)
	V10c 東京大学木曾観測所、次期広視野モザイクカメラ KWFC の開発 三戸洋之 (東京大学)	10:36	V22a TMT30m 望遠鏡用観測装置の提案 : 近赤外高分散分光器 小林尚人 (東京大学)
16:12	V11b 東京大学木曾観測所写真乾板システムを更新 三戸洋之 (東京大学)		V23c The mid-infrared instrument on the Thirty Meter Telescope (TMT). I. 岡本美子 (茨城大学)
16:12	V12b 超広視野望遠鏡 WIDGET のデータ公開の現状報告 菅佐原たか子 (埼玉大学)	10:48	V24a セグメント型望遠鏡用シェアリング・ナル干渉ステラコロナグラフの検討 小林溪太 (北海道大学)
	V13c 広視野監視システム (MWM) の高感度化と観測データベースの開発 廿日出勇 (宮崎大学)	11:00	V25a TAO 計画の進捗状況 1: 東京大学アタカマ天文台計画概要 吉井 謙 (東京大学)

11:12	V26a	TAO 計画の進捗状況 2: 東京大学アタカマ 1m 望遠鏡観測所の現状 峰崎岳夫 (東京大学)		V37c	すばるレーザーガイド星補償光学系の 実時間制御系の開発状況 服部雅之 (国立天文台)
11:24	V27a	TAO 計画の進捗状況 3: 東京大学アタカマ 1m 望遠鏡の進捗と性能評価 加藤大輔 (東京大学)	14:24	V38a	すばる主焦点多天体分光器 FMOS の進捗 高遠徳尚 (国立天文台)
11:36	V28a	TAO 計画の進捗状況 4: miniTAO 望遠鏡 近赤外カメラ ANIR ファーストライト 本原顕太郎 (東京大学)	14:36	V39a	神岡低温レーザー干渉計 CLIO による 重力波観測 大橋正健 (東京大学)
11:48	V29b	極低温下での利用に最適化されたピエゾアクチュエータの開発 中村友彦 (東京大学)	14:48	V40a	那須パルサー 30m 固定球面鏡用円錐 ホーンシステムの評価 田中 泰 (早稲田大学)
11:48	V30b	30 μ m 帯長波長中間赤外線検出器 Si:Sb128 × 128array の極低温下における性能評価 土佐政宗 (茨城大学)	15:00	V41a	レーザーポインタによる那須 30m ϕ 鏡 のエンコーダ値の補正とその評価 今井章人 (早稲田大学)
	V31c	Renovational Improvement of Optical Performance of Kottamia 188cm Telescope in Egypt 佐々木敏由紀 (国立天文台)	15:12	V42b	電波トランジェントの正体解明に向けて 大師堂経明 (早稲田大学)
	V32c	中国西部域サイト調査 2009 - 新疆 ウイグル・カラス地区およびチベット・ オマ地区での調査 (II) 佐々木敏由紀 (国立天文台)	15:12	V43b	乗算器を応用した高エネルギー天体 の電波観測 上原宏明 (早稲田大学)
9月15日(火) 午後・H会場				V44c	2 素子干渉計解析ソフトウェアの開発 II 中川 翔 (早稲田大学)
14:00	V33a	すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: コミッシュニング進捗報告 早野 裕 (国立天文台)	15:12	V45b	大地熱輻射遮蔽アルミメッシュの効果測定 宮田英明 (早稲田大学)
14:12	V34b	すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: レーザーガイド星制御系開発 齊藤嘉彦 (国立天文台)		V46c	那須パルサー観測所サーベイカタログ アップデート 新沼浩太郎 (国立天文台)
14:12	V35b	すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: レーザーガイド星の明るさ 評価の結果報告 伊藤 周 (国立天文台)		V47c	赤緯 32°-33° の 1.42 GHz Radio Atlas 貴田寿美子 (早稲田大学)
14:12	V36b	すばるレーザーガイド補償光学系 AO188: 自然ガイド星モードにおける性能 評価と共同利用報告 美濃和陽典 (国立天文台)		V48c	VSOP-2 のための参照電波源サーベイ 1.8 GHz 帯 e-VLBI 須藤広志 (岐阜大学)
				V49c	アストロメトリ高精度化のための測地 VLBI の 22GHz 化 高羽 浩 (岐阜大学)
				V50c	岐阜大学 11m 電波望遠鏡の制御系 の改修 日野祐悟 (岐阜大学)

	V51c 山口 32m 電波望遠鏡計画の経過報告と将来計画 藤沢健太 (山口大学)	10:24	V64a 最速ブラックホール結像装置：キャラバン-sub 三好 真 (国立天文台)
15:24	V52b 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備状況 米倉覚則 (茨城大学)	10:36	V65a サブミリ波帯 (385-500GHz) サイドバンド分離型バランスド SIS ミクサの開発 芹澤靖隆 (東京大学 / 国立天文台)
15:24	V53b VERA 搭載用 6.7GHz 帯フロントエンドの開発および搭載 松本浩平 (大阪府立大学)	10:48	V66a 超伝導サブミリ波カメラの大規模アレイ化へ向けて 松尾 宏 (国立天文台)
15:24	V54b VSOP-2 地上局用 22GHz 帯ポーライザーの開発 海田正大 (大阪府立大学)	11:00	V67a 1.85m 電波望遠鏡ファーストライト 木村公洋 (大阪府立大学)
15:36	V55b KJVVC における多周波同時観測でのフリンジサーチアルゴリズムの研究 大濱伸之 (鹿児島大学)	11:12	V68b 1.85m 電波望遠鏡受信機・中間周波数系の開発 箕輪昌裕 (大阪府立大学)
15:36	V56b 東アジア VLBI 観測網の構築と現状 小林秀行 (国立天文台)	11:12	V69b 1.85m 電波望遠鏡における定在波除去システムの開発 國實真人 (大阪府立大学)
15:36	V57b 東アジア VLBI 観測網：初期観測網構築へ向けた記録装置配備計画 宮崎敦史 (国立天文台)	11:12	V70b 1.85m 電波望遠鏡 FFT 電波分光計システムの開発 (II) : Acqiris AC240 の Linux 制御と Socket サーバー化 西村 淳 (大阪府立大学)
15:48	V58b 数値計算によるアンテナ広帯域化の検討 氏原秀樹 (国立天文台)	11:24	V71b 1.85m 電波望遠鏡観測プログラムの開発 竹中敬雅 (大阪府立大学)
15:48	V59b 1G-10GHz 帯広帯域受信機システムの開発 中川亜紀治 (鹿児島大学)	11:24	V72b 野辺山 45m 鏡用 100GHz 帯 2SB 受信機開発の進捗 中島 拓 (国立天文台)
	V60c 太陽風観測用 UHF 電波望遠鏡フロントエンドのダイポールアレイ設計 伊集朝哉 (名古屋大学)	11:24	V73b IDL を用いた FITS イメージ / キューブ解析環境 FAZZ の開発 池田紀夫 (宇宙航空研究開発機構)
	V61c 太陽圏イメージング装置の開発 徳丸宗利 (名古屋大学)	11:36	V74b 量子カスケードレーザーの応用による 1.9THz 帯ヘテロダイン受信機の開発 前澤裕之 (名古屋大学)
9月16日(水) 午前・H会場			
10:00	V62a 茨城-鹿島波長多重光通信回線の整備と利用計画 川口則幸 (国立天文台)	11:36	V75b AlN 緩衝層を用いた NbN, NbTiN 薄膜の超伝導転移温度の改善 椎野竜哉 (東京大学)
10:12	V63a 次世代高速度 A/D サンプラ ADS3000+ のフリンジテスト 岳藤一宏 (情報通信研究機構)	11:36	V76b 南極 30cm サブミリ波望遠鏡の開発 III 石井 峻 (筑波大学)

W. 飛翔体観測機器

11:48	V77b 広帯域デジタル電波分光計 AC240 の水冷機構の開発と性能評価 荒井 均 (筑波大学)	9月14日(月) 午後・I会場	15:00	W01a 赤外線天文衛星「あかり」の現状について 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)
11:48	V78b ASTE 搭載用多色連続波カメラの光学系開発 竹腰達哉 (北海道大学)		W02c 次世代赤外線天文衛星 SPICA 計画の進捗 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	
11:48	V79b ASTE 搭載 VLBI 観測用 230GHz 帯受信機の開発 木村公洋 (大阪府立大学)		W03c 軸外し鏡による広視野光学系と SPICA 搭載中間赤外装置光学設計 片坐宏一 (宇宙航空研究開発機構)	
	V80c A New Thermo Metrology on ASTE for High Pointing Performance 浮田信治 (国立天文台)		15:12	W04a 次世代赤外線天文衛星 SPICA 搭載中間赤外線カメラの概念設計 II 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)
9月16日(水) 午後・H会場			15:24	W05b 次世代赤外線天文衛星 SPICA 搭載中間赤外中分散 Echelle 分光器の概念設計 左近 樹 (東京大学)
14:00	V81a ALMA の建設 (11) 井口 聖 (国立天文台)		15:24	W06b SPICA/SAFARI 搭載へ向けた Ge:Ga モノリシック検出器の開発 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)
14:12	V82a ALMA-ACA 用 FX 関連器の開発 V. 現地試験報告その 1 奥村幸子 (国立天文台)		W07c SPICA コロナグラフ : 赤外線宇宙望遠鏡による系外惑星観測に向けて 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)	
14:24	V83a ALMA のための光ローカル信号の発生と伝送 木内 等 (国立天文台)		15:24	W08b 次世代高感度赤外線検出器用完全空乏型 SOI-CMOS 極低温電子回路の開発 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)
14:36	V84a ALMA Band10 受信機開発進捗状況(Ⅲ) 藤井泰範 (国立天文台)		15:36	W09b 遠赤外線 Ge:Ga 接合素子の電気特性の評価 和田健介 (東京工業大学)
14:48	V85a ALMA Band10 受信機開発進捗状況(Ⅳ) 金子慶子 (国立天文台)		15:36	W10b 遠赤外線 Ge:Ga 接合素子の光感度特性の評価 狩野良子 (名古屋大学)
15:00	V86a ALMA-J Computing の活動と進捗状況 (2) 小杉城治 (国立天文台)		15:36	W11b 宇宙赤外線背景放射のロケット観測実験 CIBER - 打ち上げ報告と性能評価 - 津村耕司 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)
15:12	V87a ALMA データ解析ソフトウェア CASA の開発 2 杉本香菜子 (国立天文台)			
15:24	V88a ALMA 観測準備ソフトウェアの開発 谷田貝 宇 (国立天文台)			

15:48	W12a 大気球テラヘルツ帯大気背景光観測 実験 TG-ZERO 上塚貴史 (東京大学)	10:36	W23a JASMINE (赤外線位置天文観測衛星) 計画シリーズの進捗状況 郷田直輝 (国立天文台)
16:00	W13a サブミリ波 1000 画素 SIS カメラの開発 -SIS フォトン検出器の超高感度化へ の展望 - 鈴木仁研 (国立天文台)	10:48	W24a JASMINE における高精度位置決定の ための実証実験 矢野太平 (国立天文台)
16:12	W14a スペース VLBI 計画 : ASTRO-G(VSOP-2) プロジェクトの進捗 (その2) 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)	11:00	W25a レーザー干渉計型高精度変位セン サーを用いた JASMINE 望遠鏡素材の 熱変形測 丹羽佳人 (京都大学 / 国立天文台)
16:24	W15b 次期ミリ波スペース VLBI 計画 : ASTRO-G 衛星開発の進捗 坪井昌人 (宇宙航空研究開発機構)	11:12	W26b 超小型赤外線位置天文衛星 Nano- JASMINE の開発および性能試験 初鳥陽一 (国立天文台)
16:24	W16b ASTRO-G 搭載用フロントエンドのビー ムパターン・雑音・振動評価 (2) 黒岩宏一 (大阪府立大学)	11:12	W27b Nano-JASMINE のミッションオンボード 処理装置の開発および試験 山田良透 (京都大学)
16:24	W17b ASTRO-G 副鏡面材料のミリ波反射特 性測定 亀谷和久 (宇宙航空研究開発機構)	11:12	W28b 実験室宇宙物理1 : 阪大レーザー研 での実験室宇宙物理プロジェクト 高部英明 (大阪大学)
16:36	W18a VSOP-2 地上系整備およびサイエンス 運用センター計画の進捗 梅本智文 (国立天文台)	11:24	W29b 実験室宇宙物理2 : 高速対向プラズ マ流による無衝突衝撃波生成の理論 と実験 高部英明 (大阪大学)
16:48	W19b VSOP-2 Key Science Program の課題 検討 亀野誠二 (鹿児島大学)	11:24	W30b 実験室宇宙物理3 : 超高強度電磁場 による電子のべき乗加速実験と理論 蔵満康浩 (大阪大学)
9月15日(火) 午前・I会場			
10:00	W20a 太陽観測衛星 SOLAR-C 計画 III: ワー キンググループの活動進捗報告 原 弘久 (国立天文台)	11:24	W31b 実験室宇宙物理4 : レーザー駆動高 温黒体放射場による天体模擬光電離 プラズマの生成 山本則正 (大阪大学)
10:12	W21a The JEM-EUSO Mission 戒崎俊一 (理化学研究所)	11:36	W32b MAXI 突発天体発見システムのイン ターフェイスの改良と実運用 小澤洋志 (日本大学)
10:24	W22a スペース重力波アンテナ DECIGO 計 画 (13) 川村静児 (国立天文台)	11:36	W33b X-mas 望遠鏡の補償光学における波 面制御について 竹中恵理 (立教大学)

11:36	W34b DIOS 衛星計画と開発の現状 田原 譲 (名古屋大学)	15:36	W46b 硬 X 線偏光検出器 PHENEX による 2009 年気球実験の速報 (1) 観測シ ステムと姿勢制御装置の概要 山内 学 (大阪大学)
11:48	W35b すざく衛星搭載 X 線 CCD カメラ XIS の P-sum モードの較正 東 慶一 (立教大学)	15:36	W47b 硬 X 線偏光検出器 PHENEX による 2009 年気球実験の速報 (2) 観測の 概要と初期解析結果 田中佑磨 (山形大学)
11:48	W36b コリメート X 線斜入射法による CCD 空 乏層厚の精密測定手法の開発 青山翔一 (宮崎大学)	15:36	W48b 気球実験に向けた光電子追跡型 X 線 偏光計の開発 岩橋孝典 (理化学研究所 / 東京理 科大学)
11:48	W37b 符号化マスクと CCD を用いる軟 X 線 広視野カメラの開発 白木隆行 (青山学院大学)	15:48	W49b CALET 実験のためのガンマ線バース ト・モニターの開発 (3) 大山拓也 (青山学院大学)
9 月 15 日 (火) 午後・I 会場		9 月 16 日 (水) 午前・I 会場	
14:00	W38a 全天 X 線監視装置の開発および運用 状況 上野史郎 (宇宙航空研究開発機構)	10:00	W50a Astro-H/XRT : 開発の現状 (VI) 栗木久光 (愛媛大学)
14:12	W39a 全天 X 線監視装置 MAXI 搭載 SSC の 初期運用状況報告 木村 公 (大阪大学)	10:12	W51a Astro-H 搭載用硬 X 線望遠鏡の熱解 析の現状 伊東慶太郎 (愛媛大学)
14:24	W40a 全天 X 線監視装置 MAXI の GSC 装 置の初期観測結果 三原建弘 (理化学研究所)	10:24	W52a ASTRO-H/HXT : 多層膜成膜システ ムの現状 酒井理人 (名古屋大学)
14:36	W41a MAXI/GSC のコリメータ応答関数の開発 森井幹雄 (東京工業大学)	10:36	W53a ASTRO-H/HXT : レプリカ反射鏡開発 の現状 松田賢治 (名古屋大学)
14:48	W42a 「すざく」衛星搭載硬 X 線検出器広帯 域全天モニタ部 (HXD-WAM) の現状 (VIII) 田代 信 (埼玉大学)	10:48	W54a AstroH 搭載、硬 X 線望遠鏡用光線 追跡シミュレーターの開発 扇 拓矢 (名古屋大学)
15:00	W43a X 線偏光観測専用衛星 GEMS 玉川 徹 (理化学研究所)	11:00	W55a 硬 X 線望遠鏡のための多層膜反射鏡 の高性能化 大石 和 (名古屋大学)
15:12	W44a 硬 X 線偏光観測衛星 Tsubame の偏 光計の開発 戸泉貴裕 (東京工業大学)	11:12	W56a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 (II) 藤本龍一 (金沢大学)
15:24	W45a ガンマ線バースト偏光観測装置 GAP のフライトモデル試験 米徳大輔 (金沢大学)		

X. 銀河形成

		9月15日(火) 午前・A会場	
11:24	W57a ASTRO-H 搭載 X線マイクロカロリメータ SXS のヘリウム排気系の設計および開発状況 石川久美 (首都大学東京)	10:36	X01b DM ハロー合体の軌道パラメータ計算におけるハロー同定法依存性 大木 平 (北海道大学)
11:36	W58a TES 型 X線マイクロカロリメータのエネルギー分解能の追求 阿部祐輝 (首都大学東京)	10:36	X02b 超新星爆発駆動ガス降着過程における超巨大ブラックホールの最大質量 川勝 望 (国立天文台)
11:48	W59a X線マイクロカロリメータのアレイ化用高速駆動回路の性能評価 平社 航 (宇宙航空研究開発機構)	10:36	X03b ダストのサイズ分布進化とダストにおける水素分子形成を考慮した銀河形成進化モデル 山澤大輔 (北海道大学)
		9月16日(水) 午後・I会場	
14:00	W60a X線マイクロカロリメータ動作のための断熱消磁冷凍機の基礎開発 (3) 和田 茜 (金沢大学)	10:48	X04b 近赤外線狭帯域撮像による RXJ1716 銀河団 ($z=0.81$) の $H\alpha$ 輝線サーベイ-II 小山佑世 (東京大学)
14:12	W61a 極低温冷凍機用ガスギャップ式ヒートスイッチの開発 (2) 横田 渉 (首都大学東京)	10:48	X05b Subaru Deep Field における $1.6\mu m$ bump を用いた銀河選択 中島王彦 (東京大学)
14:24	W62a 結晶シンチレータの光量シミュレータの開発 西岡博之 (東京大学)	10:48	X06b GOODS-S field における $z = 2.9-4.3$ の $Ly\alpha$ blobs の探査と性質 済川健太郎 (愛媛大学)
14:36	W63a X線天文衛星 ASTRO-H 搭載 X線 CCD カメラ (SXI) の紫外線対策 II 幸村孝由 (工学院大学)	11:00	X07a 「あかり」衛星による遠赤外線宇宙背景放射ゆらぎの検出 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)
14:48	W64a 次期 X線天文衛星 Astro-H における SpaceWire を用いた時刻配信方法の検証 神頭知美 (埼玉大学)	11:12	X08a MOIRCS Deep Survey による $z=0.81$ の $H\alpha$ 輝線銀河の検出 植田準子 (東京大学)
		11:24	X09a $z=0.83$ の銀河団にある早期型銀河の分光学的性質と環境効果・その2 山田善彦 (国立天文台)
		11:36	X10a $z \sim 1$ までの SMBH とホスト銀河の関係の進化モデル 木坂将大 (広島大学)
		11:48	X11a SXDS/UDS 領域における恒星質量に依存した銀河のクラスタリング進化 古澤順子 (国立天文台)

9月15日(火) 午後・A会場		9月16日(水) 午前・A会場	
14:00	X12a クェーサー金属量の巨大ブラックホール質量及び降着率への依存性 松岡健太 (愛媛大学)	10:00	X22a ハロー星の軌道離心率分布関数を用いた、銀河形成に対する新しいテスト 服部公平 (東京大学)
14:12	X13a SSA22 における $z \sim 3$ LBG 広視野分光探査 香西克紀 (東北大学)	10:12	X23a 天の川銀河の衛星銀河の最小ハロー質量と、ダークサテライトの起源 岡本 崇 (筑波大学)
14:24	X14a COSMOS プロジェクト: COSMOS20 に基づく高赤方偏移星生成銀河探査 塩谷泰広 (愛媛大学)	10:24	X24a 渦状銀河からの質量放出に伴う力学応答解析と S0 銀河の起源 II 欠畑賢之 (東京大学)
14:36	X15a 極めて強い電離光子放射を示すライマン α 輝線銀河の分光赤方偏移確認 井上昭雄 (大阪産業大学)	10:36	X25a 数値銀河カタログにおける Tully-Fisher 関係の進化について 長島雅裕 (長崎大学)
14:48	X16a 赤方偏移 $z \sim 3$ ライマン α 輝線銀河の輝線プロファイルについて 山田 亨 (東北大学)	10:48	X26a TREE 構造を用いた高速 Radiation Smoothed Particle Hydrodynamics 法の開発 長谷川賢二 (筑波大学)
15:00	X17a Comparison of A Theoretical Model with the LAEs at $z=4.86$ in the COSMOS 2-sq. Degree Field 小林正和 (国立天文台)		
15:12	X18a すばる望遠鏡主焦点カメラ赤感 CCD を用いた $z=7$ ライマン α 輝線銀河の探査 太田一陽 (理化学研究所)		
15:24	X19a すばる望遠鏡を用いた赤方偏移 7.3 のライマン α 輝線銀河探査 澁谷隆俊 (総合研究大学院大学)		
15:36	X20a ライマンアルファエミッターの化学力学進化モデル II 森 正夫 (筑波大学)		
15:48	X21a 高赤方偏移銀河における電離光子脱出確率の質量依存性 矢島秀伸 (筑波大学)		

Y. 天文教育・その他

9月14日(月) 午前・D会場		
11:00	Y01a Berry (1976) の光害モデルを用いて計算した日本全国の夜空の明るさ 長澤健一 (大阪大学)	12:36 Y12b 日食観察用フィルタの透過率測定 大西浩次 (長野高専)
11:12	Y02a 国立天文台野辺山における一般見学者の意識調査 下井倉ともみ (国立天文台)	12:36 Y13b 高校生天体観測ネットワークによる全国日食観測会 篠原秀雄 (埼玉県立蕨高等学校)
11:24	Y03a 市民が期待する双方向科学コミュニケーションについての考察 - 「星と風のサロン」における実践より- 縣 秀彦 (国立天文台)	12:36 Y14b 世界天文年「アジアの星・宇宙の神話伝説プロジェクト」 矢治健太郎 (立教大学)
11:36	Y04a 京大理学研究科における高校生対象の最先端科学の体験型学習講座 II 野上大作 (京都大学)	12:48 Y15a すばる望遠鏡における世界天文年への取り組み 林 左絵子 (国立天文台)
11:48	Y05a 第2回“宇宙(天文)を学べる大学”合同進学説明会の開催-広報の在り方と高校生のニーズ 渡辺謙仁 (大阪教育大学)	
	Y06c 小学生を対象とした天文教育活動「少年宇宙教室」の報告 中尾泰士 (北九州市立大学)	
12:00	Y07a 2009年全国同時 SETI 観測実験(試験観測)電波部門の報告 藤下光身 (東海大学)	
12:12	Y08a 全年令向け科学ビデオ作品「たいようのおくりもの」制作 中道晶香(群馬県生涯学習センター)	
12:24	Y09b 太陽観測衛星ひので解説DVD「太陽のなぞに迫る」の制作と配布 鈴木大輔 (川口市立科学館)	
12:24	Y10b 立体 HR 図の作成 宮崎 恵 (紀美野町みさと天文台 / 和歌山大学)	
12:24	Y11b 研究用観測データと表計算ソフトを用いた星団HR図の作成教材の開発 柏木雄太 (東京学芸大学)	

2009年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	本間 希樹	(国立天文台)
委員	今西 昌俊	(国立天文台)
	岡 朋治	(慶應義塾大学)
	鹿野 良平	(国立天文台)
	幸村 孝由	(工学院大学)
	小久保 英一郎	(国立天文台)
	左近 樹	(東京大学)
	鈴木 知治	(東京大学)
	宮田 隆志	(東京大学)
	奥村 幸子	(国立天文台) 保育室担当

年会開催地理事

藤 沢 健 太 (山口大学)